

文化芸術への公的支援に係る世論調査レポート（全体版）

～新型コロナウイルスの感染拡大、あいちトリエンナーレ等の視点から～

2020/6

一般社団法人 芸術と創造
Platform for Arts and Creativity

【調査に関するお問い合わせ】

一般社団法人芸術と創造 代表理事 綿江彰禪

E-mail : watae@pac.asia

※本結果を記事等にてお取り上げ頂く際には必ずご連絡をお願いします。

目次

1. はじめに	・・・P 3
---------	--------

2. 結果のサマリー	・・・P 6
------------	--------

3. 文化芸術に係る 公的支援について

文化芸術への「公的支援の是非」	・・・P 1 2
-----------------	----------

公的支援の優先度の高い分野	・・・P 2 4
---------------	----------

文化芸術の「重要性」と「公的支援の是非」	・・・P 2 8
----------------------	----------

4. 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う公的支援について	・・・P 3 6
------------------------------	----------

5. 行政による助成・補助や主催事業における関与について	・・・P 4 2
------------------------------	----------

【参考】単純集計結果等	・・・P 4 7
-------------	----------

1. はじめに

2. 結果のサマリー

3. 文化芸術に係る 公的支援について

文化芸術への「公的支援の是非」

公的支援の優先度の高い分野

文化芸術の「重要性」と「公的支援の是非」

4. 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う公的支援について

5. 行政による助成・補助や主催事業における関与について

【参考】単純集計結果等

調査にあたっての問題意識

近年、文化芸術に係る話題がメディア（テレビ・新聞・雑誌等）に取り上げられる頻度が増えたように思います。これは、メディア及び国民が
良い意味でも悪い意味でも文化芸術に関心を持っていることの証左であり、個人的には歓迎すべきことだと考えています。

例えば、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う公的支援やあいちトリエンナーレについてのメディアでの議論やSNSへの投稿をみると、賛否両論が
あることがわかります。関係者は文化芸術を擁護しようと、また、発展させようと、“原理原則”に基づく主張を行い、また、一般の人々はそれとは
逆の主張をしていることが少なくありません。結果、芸術関係者と一般の人々と対立しているように錯覚してしまうことがあります。

文化芸術には一定の公的支援が必要不可欠であり、その支援を絶やさないためには国民の理解が重要だと私は考えています。しかし、必ずしも
現状はそうなっていないと思われます。そして、芸術関係者がその現状を踏まえ、中長期的に理解を促進するための方策を積極的に議論できていな
いようにも感じています。また、その前提となる世論の把握も十分に行われていません。私はこれらのことに強い危機感を覚えています。

弊社では、この危機感を背景とし、1万人を対象とした世論調査を行いました。

なお、私はコンサルタントとして調査の分析の際に、必ず解釈・提案を盛り込むことをポリシーとしておりますが、本調査においては、それが先入観を
生む可能性を考慮し、あえて記載しておりません。

本調査結果が文化芸術の発展に向け“地に足のついた”議論の一助となれば幸いです。

一般社団法人芸術と創造 代表理事

綿江 彰禪

【一般社団法人芸術と創造について】

2016年から活動を行うコンサルティング会社。文化政策、文化施設運営、アートビジネスに関するコンサルティングを専門としている。これまで、政府・地方公共団体・
民間企業等から50を超えるコンサルティング案件を受託している。ファクトに基づいた“客観性”、現場主義に基づいた“実現性”を重視した、ハンズオン型のコンサルティング
を強みとする。詳細は<http://www.pac.asia>参照。

調査の概要

➡10,000人の回答に基づいており、ほぼ日本国民を代表する構成にしている。

主催・設計・分析	一般社団法人芸術と創造
調査時期	2020年5月29日～6月1日
回答方法	インターネットを介した回答 ※インターネットアンケート会社の持つモニターに対して実施
有効回答サンプル数	10,000件
対象・割付	15歳以上を対象 性別（2区分）・年代（6区分）、就労状況（2区分）、個人年収（3区分）、居住エリア（4区分） につき総務省「労働力調査（2019年）」の結果に沿って割付（合計192区分）
設問数	29問
設問内容	・文化芸術の重要性と公的支援の是非 ・公的支援の優先度の高い分野、“文化芸術の中で”公的支援の優先度の高い分野 ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う特定の業種と文化芸術の支援の是非、優先的に支援すべき分野 ・行政による助成・補助や主催事業における関与に関する考え方 ・あいちトリエンナーレの認知 ・性別、年代、居住県、結婚・子供有無、就業状況、業種、個人・世帯年収、居住市町村の人口規模 ・趣味、美術・映画・舞台芸術等の鑑賞頻度、大きな政府・小さな政府、これまでの経験や現在の状況等

統計に基づく「人口の分布」と本調査の「回答の分布」

属性		人口の分布	回答の分布
性別	男性	48.4%	48.4%
	女性	51.6%	51.7%
年代	15～24歳	11.0%	11.0%
	25～34歳	11.7%	11.7%
	35～44歳	14.8%	14.8%
	45～54歳	16.5%	16.5%
	55～64歳	13.7%	13.7%
	65歳以上	32.3%	32.3%

属性		人口の分布	回答の分布
居住エリア	北海道・東北・北関東・甲信・北陸	22.9%	22.9%
	南関東	29.2%	29.2%
	東海・近畿	28.0%	28.1%
	中国・四国・九州・沖縄	19.9%	19.9%
就業状況	就労者（主に仕事）	49.8%	49.8%
	非就労者	50.2%	50.3%
個人年収 （就労者）	300万円未満	38.6%	39.9%
	300万円～700万円未満	47.7%	46.7%
	700万円～	13.7%	13.4%

1. はじめに

2. 結果のサマリー

3. 文化芸術に係る 公的支援について

文化芸術への「公的支援の是非」

公的支援の優先度の高い分野

文化芸術の「重要性」と「公的支援の是非」

4. 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う公的支援について

5. 行政による助成・補助や主催事業における関与について

【参考】単純集計結果等

結果のサマリー（１／３）

文化芸術に係る公的支援について

- 文化芸術は「重要」だと考えている人は多い（72%）ものの、
国・自治体の予算を文化芸術に優先的に「振り分けるべきではない」（43%）と考える方が、
「振り分けるべきである」（34%）の割合を上回る。
- 分野間の比較では、「医療・福祉・介護」、「防災・減災」、「子育て」、「教育」などに優先的に公的支援を行うべきと考えられており、「文化芸術の振興」を挙げた人は多くなかった（6%）。
- 「文化芸術に係る趣味・仕事・経験などを持つ」人が「振り分けるべき」と考える傾向。
- 「40～50代男性」、「30代女性」、「高年収」、「高学歴」、「公務員」、「趣味がない人」、
「“小さな政府”を志向する人」、「選挙に行っていない人」などで「振り分けるべきではない」の割合が高い。
- 特に、「世帯収入が多い」、「高学歴」、「他に優先的に予算をつけるべき分野がある」と考える人々は、
「文化芸術は重要だが予算は振り分けるべきではない」と考える傾向。
- 文化芸術の分野別では「美術（絵画・版画・彫刻等）」、「伝統芸能」、「文化財」、「工芸・陶芸」、
「地域の祭り・年中行事等」に優先的に予算を振り分けるべきとの回答が多かった。

結果のサマリー（２／３）

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う公的支援について

- **新型コロナウイルスの感染拡大に伴う文化芸術に従事している団体・個人への公的支援は52%が賛成（反対25%）。**
- **全体の16%は「通常は文化芸術に予算を振り分けるべきではない」が、新型コロナウイルスの感染拡大に伴っては「支援に賛成」だと考えている。**
- **文化芸術のジャンル別では、
「舞台芸術の興行（音楽・演劇・ミュージカル・演芸等）」 ➡「映画（映画館・映画配給・映画制作等）」
➡「美術展の開催（含む画廊・ギャラリー）」の優先度。**
- **ただし、全ての分野でみると、「医療・介護」、「外食業・飲食業」、「宿泊業」、「保育」、「物流サービス」、「鉄道・航空」、「スーパーマーケット」のほうが支援の優先度が高いと考えられている。**

結果のサマリー（3／3）

行政による文化芸術に係る助成・補助や主催事業における関与について

- 行政による助成・補助を受けた事業では以下のように考える人が多かった。
 - 国・自治体は来場者の安全性の観点から事業内容に指示すべき
 - 国・自治体は助成の趣旨から事業費の使い方を指示すべき
 - 行政は政治的な観点から事業内容に指示すべきではない
- 行政が全ての事業費を負担する主催事業では以下のように考える人が多かった。
 - 政治家（首長含む）は展示・上演の中身に関与すべきではない
 - 外部の専門家に一切の展示・上演内容を任せるべき
- そして、助成・補助、主催事業ともに「不快な表現が含まれる作品は展示されるべきではない」と考える人が多く、「政治的な主義・主張が含まれる作品の展示」の是非については意見が分かれた。
- 約半数が「あいちトリエンナーレ」に係る今年の騒動を認知。

これらの人々は、国・自治体が政治的な観点から事業の内容に関与すべきではないと考える傾向。
- 「趣味が美術鑑賞の人」・「文化芸術の振興に予算を振り分けるべきと考える人」は、ともに、外部の専門家に任せ、「政治的な主義・主張」・「一部の方々にとって不快な表現」が含まれる作品も自由に展示されるべきと考える傾向。

ただし、趣味の人は「安全性の観点からの指示」はすべきと考える。
- そして、「公務員」は「政治的な主義・主張」・「一部の方々にとって不快な表現」が含まれる芸術作品は自由に展示されるべきではないと考える傾向。

結果を受けて（１／２）

- 文化芸術の重要性は既に多くの人々に認識されているが、必ずしも国・自治体の予算を文化芸術に優先的に振り分けるべきとは考えられていない。
文化芸術が重要だと考えることと公的予算をつけるべきと考えることはイコールではないことに留意が必要。
- 国民の理解を得るためには文化芸術そのものの魅力よりも社会的な意義について周知が必要だと考えられる。
- 分野間の比較においては文化芸術に予算を振り分けるべきだと考える人は6%にとどまる。
- しかし、「医療・福祉・介護」、「防災・減災」、「子育て」、「教育」などには優先的に公的支援を行うべきと考えられており、
これらは「文化芸術」が密接に関わる可能性がある分野でもあり、むしろ「文化芸術」にとってチャンスだとも考えられる。

結果を受けて（２／２）

- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う文化芸術支援は半数が賛成だと考えており、そのうちの約３割（全体の１６％）は「通常は文化芸術に予算を振り分けるべきではない」と考えていた人々であった。
- 新型コロナウイルスに関連しては、マスメディア等を通じて公演中止等が大々的に報じられたことが、理解促進に貢献したと推測される。
- これらを踏まえると状況や積極的な発信により、世論はかなり変化すると考えられ、そのためにも関係者は世論の把握と、それに基づいた議論が必要だといえる。
- 関係者が担保されるべきと考える“表現の自由”や“アームズ・レングスの原則”と一般の人々が考えるそれらへの認識には乖離があると推察される。もしくは、一部の人々はそれらを十分に理解はしているが、それ以外の事由（精神的・身体的な安全性の確保、公的資金の用途としての正当性に係る価値判断等）のほうの場合によってはより重要であると判断していると考えられる。
- このような実態を踏まえたうえで、多くの人々の理解・共感を呼ぶ形で、これらの“原理・原則”の理解促進・周知を進めることが重要だと思われる。

1. はじめに

2. 結果のサマリー

3. 文化芸術に係る
公的支援について

文化芸術への「公的支援の是非」

公的支援の優先度の高い分野

文化芸術の「重要性」と「公的支援の是非」

4. 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う公的支援について

5. 行政による助成・補助や主催事業における関与について

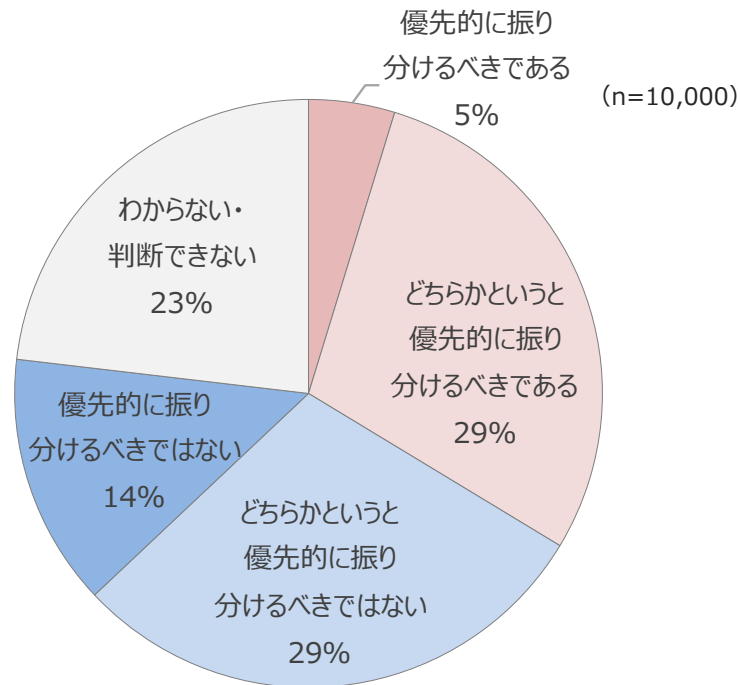
【参考】単純集計結果等

文化芸術への「公的支援の是非」

⇒国・自治体の予算を文化芸術の振興・保護に

「振り分けるべきではない」（43%）と考える方が、「振り分けるべきである」（34%）の割合を上回る。

国・自治体の予算を「文化芸術の振興・保護」に優先的に振り分けるべきかどうか



⇒「優先的に振り分けるべきではない」（43%）が
「優先的に振り分けるべきである」（34%）を上回る

「振り分けるべき／べきでない」の割合が特に高いセグメント

➡文化芸術に係る趣味・仕事・経験などを持つ人が「振り分けるべき」と考える傾向。

男性40～50代、高年収、高学歴、“小さな政府”を志向する人は「振り分けるべきではない」の割合が高い。

「振り分けるべき」と考える人が多い

「振り分けるべきではない」と考える人が多い

属性		n数	振り分けるべき	振り分けるべきではない	差分 (振り分けるべき－振り分けるべきではない)
就業状況	学生	607	39%	37%	1.8%
	会社経営（経営者・役員）	163	44%	43%	1.2%
業種	教育・学習支援業	168	43%	42%	1.8%
趣味	映画鑑賞	3,141	41%	40%	1.6%
	美術（含む写真）の鑑賞	1,389	51%	34%	17.4%
	美術（含む写真）の制作	422	49%	36%	12.8%
	音楽・演劇・舞踊・伝統芸能・大衆芸能の鑑賞	2,407	46%	35%	11.3%
	音楽・演劇・舞踊・伝統芸能・大衆芸能の実演 ※カラオケ・合唱含む	1,260	45%	37%	7.9%
これまでの経験等	あなたが自身が文化芸術業界の仕事をしている（していた）	382	65%	29%	36.1%
	文化芸術に関する仕事を行っている親族・友人がいる（いた）	725	55%	33%	21.7%
	子どもの頃、時々、家族と劇場・音楽堂に行っていた	1,264	50%	35%	15.3%
	高校・専門学校・大学・大学院の芸術系コースを卒業した	478	51%	36%	15.3%
	子どもの頃、時々、家族と博物館・美術館に行っていた	1,897	44%	40%	4.0%
公的予算を優先的に振り分けるべき分野	スポーツの振興	383	53%	30%	23.5%
	国際協力	461	47%	36%	11.5%
性年代	男性40代	877	27%	51%	-23.8%
	男性50代	820	31%	49%	-17.4%
	女性30代	659	28%	43%	-15.2%
就業状況	公務員（正職員）	309	30%	52%	-22.0%
業種	通信業・情報サービス業	272	29%	49%	-19.9%
	卸売・小売業（スーパー・コンビニ・飲料料品等）	103	29%	48%	-18.4%
	製造業	893	32%	49%	-16.6%
個人年収	700万円～	667	34%	52%	-18.0%
最終学歴	大学院	441	35%	51%	-16.1%
趣味	パチンコ・公営ギャンブル（競馬・競輪・競艇等）・宝くじ	867	32%	49%	-16.7%
	趣味はない	847	15%	38%	-22.6%
これまでの経験等	あてはまるものはない	5,207	27%	43%	-15.9%
政府の形	「小さな政府」に考えが近い ※備考参照	2,121	30%	55%	-24.8%
国政選挙での投票	あまり投票していない・ほぼ毎回投票していない	1,533	24%	47%	-22.6%
公的予算を優先的に振り分けるべき分野	二次産業（製造業）の振興	645	28%	53%	-25.4%
	防衛・安全保障	2,091	30%	52%	-22.2%
	治安対策	2,228	30%	50%	-20.0%
	社会インフラ（道路・鉄道・空港等）の整備	1,885	34%	49%	-15.3%

属性別の傾向

参考）結果詳細（1／9）

属性		n数	振り 分ける べき	振り 分ける べきでは ない	差分 （振り分けるべき－振り分けるべきではない）	
性年代	男性10代	212	37%	36%		0.5%
	男性20代	580	38%	43%	-5.2%	
	男性30代	662	33%	47%	-13.7%	
	男性40代	877	27%	51%	-23.8%	
	男性50代	820	31%	49%	-17.4%	
	男性60代以上	1,684	38%	47%	-8.7%	
	女性10代	162	34%	36%	-2.5%	
	女性20代	607	35%	38%	-2.8%	
	女性30代	659	28%	43%	-15.2%	
	女性40代	871	28%	39%	-11.7%	
	女性50代	763	29%	40%	-10.6%	
	女性60代以上	2,103	38%	39%	-1.5%	
【参考】 性別	男性	4,835	34%	47%	-12.8%	
	女性	5,165	33%	40%	-6.5%	
【参考】 年代	10代	374	36%	36%	-0.8%	
	20代	1,187	36%	40%	-4.0%	
	30代	1,321	30%	45%	-14.5%	
	40代	1,748	28%	45%	-17.8%	
	50代	1,583	30%	44%	-14.2%	
	60代以上	3,787	38%	43%	-4.7%	

傾向

赤字…振り分けるべき

青字…振り分けるべきではない

40～50代男性、30代女性



属性別の傾向

参考）結果詳細（2／9）

属性		n数	振り 分ける べき	振り 分ける べきでは ない	差分 （振り分けるべき－振り分けるべきではない）		傾向 赤字…振り分けるべき 青字…振り分けるべきではない
居住 エリア	北海道・東北・北関東・甲信・北陸	2,292	33%	42%	-8.6%		東海・近畿地方
	南関東	2,917	34%	44%	-9.6%		
	東海・近畿	2,805	32%	44%	-11.6%		
	中国・四国・九州・沖縄	1,986	35%	43%	-7.7%		
【参考】 主要都道 府県※	京都府	200	37%	36%		1.0%	
	広島県	283	37%	41%	-4.2%		
	福岡県	519	37%	42%	-5.6%		
	北海道	603	35%	41%	-6.5%		
	宮城県	219	34%	41%	-6.8%		
	千葉県	424	34%	42%	-7.3%		
	神奈川県	757	36%	43%	-7.5%		
	兵庫県	488	33%	42%	-8.6%		
	東京都	1,192	34%	44%	-9.5%		
	大阪府	822	34%	44%	-10.2%		
	愛知県	599	31%	45%	-14.0%		
	埼玉県	544	31%	46%	-14.5%		
	静岡県	209	31%	46%	-14.8%		
居住 市町村の 人口規模	10万人未満	2,836	33%	42%	-9.4%		居住都市の規模は あまり関係がなかった
	10～50万人未満	3,295	34%	44%	-10.1%		
	50万人～	3,869	34%	43%	-9.2%		
結婚 有無	未婚	3,234	34%	41%	-7.4%		既婚、子供あり
	既婚（離別・死別含む）	6,766	34%	44%	-10.6%		
子供 有無	あり	5,856	34%	45%	-10.5%		
	なし	4,144	33%	41%	-8.3%		

※回答数が200以上の都道府県のみ掲載。割付はエリア別（4区分）で行ったため、都道府県別では必ずしも実際の性年代等の割合と一致していないことに留意されたい。

属性別の傾向

参考）結果詳細（3／9）

属性		n数	振り 分ける べき	振り 分ける べきでは ない	差分 (振り分けるべき－振り分けるべきではない)	
就労 状況	会社員（正社員）	3,019	32%	47%	-14.7%	
	会社員（契約社員）	377	37%	41%	-4.2%	
	会社経営（経営者・役員）	163	44%	43%		1.2%
	公務員（正職員）	309	30%	52%	-22.0%	
	派遣社員	203	34%	40%	-5.9%	
	個人事業主・フリーランス	689	38%	43%	-5.2%	
	パート・アルバイト	1,085	32%	39%	-6.9%	
	その他の職業	124	36%	43%	-6.5%	
	専業主婦・主夫	1,740	33%	41%	-7.9%	
	学生	607	39%	37%		1.8%
	無職	1,585	33%	45%	-11.2%	
業種	教育・学習支援業	168	43%	42%		1.8%
	不動産業	135	39%	41%	-2.2%	
	飲食店・宿泊業	134	37%	40%	-3.0%	
	医療業	250	35%	40%	-5.2%	
	建設業	311	36%	45%	-9.3%	
	銀行業・保険業	189	32%	43%	-11.1%	
	運輸業・郵便業	263	32%	44%	-11.4%	
	福祉関連業	181	33%	45%	-11.6%	
	専門・技術サービス業、学術研究	151	38%	50%	-12.6%	
	卸売・小売業（その他）	397	33%	47%	-13.6%	
	製造業	893	32%	49%	-16.6%	
	卸売・小売業（スーパー・コンビニ・飲食料品等）	103	29%	48%	-18.4%	
	通信業・情報サービス業	272	29%	49%	-19.9%	
	その他	963	33%	43%	-9.7%	

傾向
赤字…振り分けるべき
青字…振り分けるべきではない

会社経営、学生

公務員（正職員）

教育・学習支援業

製造業、卸売・小売業
（スーパー・コンビニ等）、
通信業・情報サービス業

属性別の傾向

参考）結果詳細（４／９）

属性		n数	振り 分ける べき	振り 分ける べきでは ない	差分 （振り分けるべき－振り分けるべきではない）	傾向 赤字…振り分けるべき 青字…振り分けるべきではない
個人 年収	200万円未満	867	36%	42%	-6.3%	
	200～400万円未満	1,932	33%	44%	-10.9%	
	400～700万円未満	1,517	34%	46%	-12.5%	
	700万円～	667	34%	52%	-18.0%	
世帯 年収	300万円未満	2,204	35%	43%	-7.8%	
	300～500万円未満	2,267	35%	44%	-9.9%	
	500～800万円未満	2,071	34%	45%	-10.7%	
	800万円～	1,633	35%	49%	-13.2%	
最終 学歴	大学院	441	35%	51%	-16.1%	
	大学	3,756	37%	45%	-8.7%	
	短期大学・高等専門学校・専門学校	2,157	32%	41%	-8.9%	
	高校・中学校	3,632	31%	41%	-10.0%	

個人年収・世帯年収ともに所得が高いほど振り分けるべきではないと考える

大学院卒

属性別の傾向

参考）結果詳細（5／9）

属性		n数	振り 分ける べき	振り 分ける べきでは ない	差分 (振り分けるべきー振り分けるべきではない)	
趣味	美術（含む写真）の鑑賞	1,389	51%	34%		17.4%
	美術（含む写真）の制作	422	49%	36%		12.8%
	音楽・演劇・舞踊・伝統芸能・大衆芸能の鑑賞	2,407	46%	35%		11.3%
	音楽・演劇・舞踊・伝統芸能・大衆芸能の実演 ※カラオケ・合唱含む	1,260	45%	37%		7.9%
	映画鑑賞	3,141	41%	40%		1.6%
	ファッション・ショッピング	1,955	39%	40%	-1.1%	
	料理・菓子作り	1,492	40%	41%	-1.3%	
	読書	3,125	40%	42%	-1.8%	
	フィットネス・ウォーキング・スポーツ（ご自身の実施）※	1,835	40%	43%	-3.3%	
	テーマパーク・遊園地・動植物園・水族館等の訪問	1,557	39%	43%	-3.7%	
	スポーツ観戦	2,142	39%	43%	-3.8%	
	外食・グルメ・食べ歩き	2,978	38%	44%	-6.0%	
	国内旅行・海外旅行	4,429	38%	44%	-6.1%	
	テレビ鑑賞・インターネット等を通じた動画鑑賞（除く映画鑑賞）	3,730	36%	44%	-7.7%	
	ドライブ・ツーリング・キャンプ・アウトドア	1,812	38%	46%	-7.9%	
	ゲーム（テレビ・パソコン・スマートフォン・タブレット等）	1,960	35%	44%	-9.4%	
	ガーデニング・園芸・庭いじり・DIY・日曜大工	1,943	37%	48%	-11.0%	
	パチンコ・公営ギャンブル（競馬・競輪・競艇等）・宝くじ	867	32%	49%	-16.7%	
	その他	259	33%	44%	-11.2%	
	趣味はない	847	15%	38%	-22.6%	

※フィットネス・ヨガ・ランニング・ウォーキング・サイクリング・スポーツ（ご自身の実施）・登山

傾向

赤字…振り分けるべき

青字…振り分けるべきではない

芸術に関する趣味を持って
いる人

パチンコ・公営ギャンブル、
ガーデニング、ゲーム等を趣味
とする人

趣味がない人（※強い傾向）

属性別の傾向

参考）結果詳細（6／9）

	属性	n数	振り 分ける べき	振り 分ける べきでは ない	差分 (振り分けるべきー振り分けるべきではない)		
【参考】 趣味（音 楽・演劇・ 舞踊・伝統 芸能・大衆 芸能の鑑 賞）の 内訳	バレエ・現代舞踊（モダンダンス、コンテンポラリーダンス等）	265	62%	24%			38.5%
	伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、日本舞踊、琴、雅楽等）※1	494	59%	29%			30.0%
	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇等）	502	54%	30%			24.1%
	ダンス（ストリートダンス、ジャズダンス、社交ダンス等）※2	280	55%	31%			23.6%
	音楽（オーケストラ、オペラ、室内楽、吹奏楽、合唱）	1,007	54%	31%			22.9%
	大衆芸能（落語、講談、浪曲、漫才・コント、大道芸等）※3	510	53%	34%			19.6%
【参考】 趣味（音 楽・演劇・ 舞踊・伝統 芸能・大衆 芸能の実 演）の 内訳	ミュージカル	735	51%	32%			19.3%
	音楽（ポップス、ロック、歌謡曲、演歌、ジャズ）	1,885	44%	35%			8.5%
	伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、日本舞踊、琴、雅楽等）※1	129	65%	26%			39.5%
	バレエ・現代舞踊（モダンダンス、コンテンポラリーダンス等）	91	60%	29%			31.9%
	ミュージカル	162	59%	29%			29.6%
	音楽（オーケストラ、オペラ、室内楽、吹奏楽、合唱）	409	56%	30%			26.7%
	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇等）	102	57%	30%			26.5%
	大衆芸能（落語、講談、浪曲、漫才・コント、大道芸等）※3	122	53%	31%			22.1%
	ダンス（ストリートダンス、ジャズダンス、社交ダンス等）※2	180	50%	37%			13.3%
	音楽（ポップス、ロック、歌謡曲、演歌、ジャズ）※カラオケ含む	947	42%	39%			3.8%

※1…伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、日本舞踊、琴、三味線、尺八、雅楽、声明等）

※2…大衆芸能（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽等）

※3…ダンス（ストリートダンス、ジャズダンス、フラダンス、サルサ、フラメンコ、社交ダンス等）

※4…海外に1ヶ月以上居住（旅行・ビジネス・留学等）した経験がある

※5…1ヶ月以上の居住を除く

属性別の傾向

参考）結果詳細（7／9）

属性		n数	振り 分ける べき	振り 分ける べきでは ない	差分 (振り分けるべき－振り分けるべきではない)		傾向 赤字…振り分けるべき 青字…振り分けるべきではない
これまでの 経験等	あなたが文化芸術業界の仕事をしている（していた）	382	65%	29%		36.1%	文化芸術業界の仕事をしている （していた）人、子どもの時に 芸術鑑賞経験が豊富な人
	文化芸術に関する仕事を行っている親族・友人がいる（いた）	725	55%	33%		21.7%	
	子どもの頃、時々、家族と劇場・音楽堂に行っていた	1,264	50%	35%		15.3%	
	高校・専門学校・大学・大学院の芸術系コースを卒業した	478	51%	36%		15.3%	
	子どもの頃、時々、家族と博物館・美術館に行っていた	1,897	44%	40%		4.0%	
	海外に1ヶ月以上居住した経験がある ※4	890	42%	44%	-1.5%		
	比較的経済的に余裕のある家庭で育った	1,537	39%	44%	-4.6%		
	海外を訪問（旅行・ビジネス・留学等）した経験がある ※5	2,118	38%	45%	-6.8%		
	あてはまるものはない	5,207	27%	43%	-15.9%		

属性別の傾向

参考）結果詳細（8／9）

属性		n数	振り 分ける べき	振り 分ける べきでは ない	差分 (振り分けるべき－振り分けるべきではない)	
政権の支持・不支持	支持する	2,893	39%	48%	-8.8%	
	支持しない	4,731	36%	46%	-9.9%	
政府の形	大きな政府	6,127	40%	44%	-3.9%	
	小さな政府	2,121	30%	55%	-24.8%	
【参考】 政府の形 詳細	Aに近い	1,905	44%	44%	0.8%	
	どちらかというAに近い	4,222	38%	44%	-6.1%	
	どちらかというBに近い	1,186	31%	54%	-23.2%	
	Bに近い	935	30%	57%	-26.7%	
	わからない・判断できない	1,752	16%	27%	-10.7%	
国政(衆議院・参議院議員)選挙での投票	ほぼ毎回投票している	5,961	37%	44%	-6.8%	
	時々投票している	973	32%	46%	-14.3%	
	あまり投票していない・ほぼ毎回投票していない	1,533	24%	47%	-22.6%	
	わからない・判断できない	432	13%	29%	-16.7%	
【参考】 衆議院・参議院議員 選挙での投票	ほぼ毎回投票している	5,961	37%	44%	-6.8%	
	時々投票している	973	32%	46%	-14.3%	
	あまり投票していない	611	26%	46%	-19.6%	
	ほぼ毎回投票していない	922	23%	47%	-24.6%	
	わからない・判断できない	432	13%	29%	-16.7%	
【参考】 地方首長の選挙※ での投票	ほぼ毎回投票している	5,748	37%	44%	-6.3%	
	時々投票している	1,056	33%	46%	-12.9%	
	あまり投票していない	673	26%	46%	-19.6%	
	ほぼ毎回投票していない	987	22%	49%	-26.5%	
	わからない・判断できない	435	13%	29%	-15.9%	

※都道府県知事や市区町村長の選挙

傾向 赤字…振り分けるべき 青字…振り分けるべきではない

現政権の支持・不支持は
あまり関係がなかった

小さな政府を志向する人ほど、
振り分けるべきではないと考える

国政・地方選挙に行っていない
人ほど、振り分けるべきではない
と考える

属性別の傾向

参考）結果詳細（9／9）

属性		n数	振り 分ける べき	振り 分ける べきでは ない	差分 (振り分けるべき－振り分けるべきではない)	
公的予算 を優先的に 振り分ける べき分野	スポーツの振興	383	53%	30%		23.5%
	国際協力	461	47%	36%		11.5%
	自然環境の保護・地球環境保全・公害対策	2,457	40%	40%		0.2%
	観光産業の振興	551	41%	41%		0.0%
	三次産業（サービス産業 ※除く観光産業）の振興	321	38%	43%	-5.0%	
	教育の充実	2,917	38%	43%	-5.2%	
	被災地の復興	2,004	36%	41%	-5.2%	
	地方創生	1,588	37%	42%	-5.5%	
	子育て環境の充実	3,573	34%	45%	-10.4%	
	医療・福祉・介護体制の充実	6,125	33%	44%	-10.6%	
	防災・減災	4,165	34%	45%	-11.3%	
	科学技術の振興	1,385	36%	49%	-12.6%	
	一次産業（農林水産業等）の振興	1,404	34%	48%	-13.5%	
	資源・エネルギー対策	2,229	33%	48%	-14.6%	
	社会インフラ（道路・鉄道・空港等）の整備	1,885	34%	49%	-15.3%	
	治安対策	2,228	30%	50%	-20.0%	
	防衛・安全保障	2,091	30%	52%	-22.2%	
	二次産業（製造業）の振興	645	28%	53%	-25.4%	
	その他	135	13%	34%	-20.7%	

傾向

赤字…振り分けるべき

青字…振り分けるべきではない

スポーツの振興、国際協力に
予算を振り分けるべきと考える人

1. はじめに

2. 結果のサマリー

3. 文化芸術に係る 公的支援について

文化芸術への「公的支援の是非」

公的支援の優先度の高い分野

文化芸術の「重要性」と「公的支援の是非」

4. 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う公的支援について

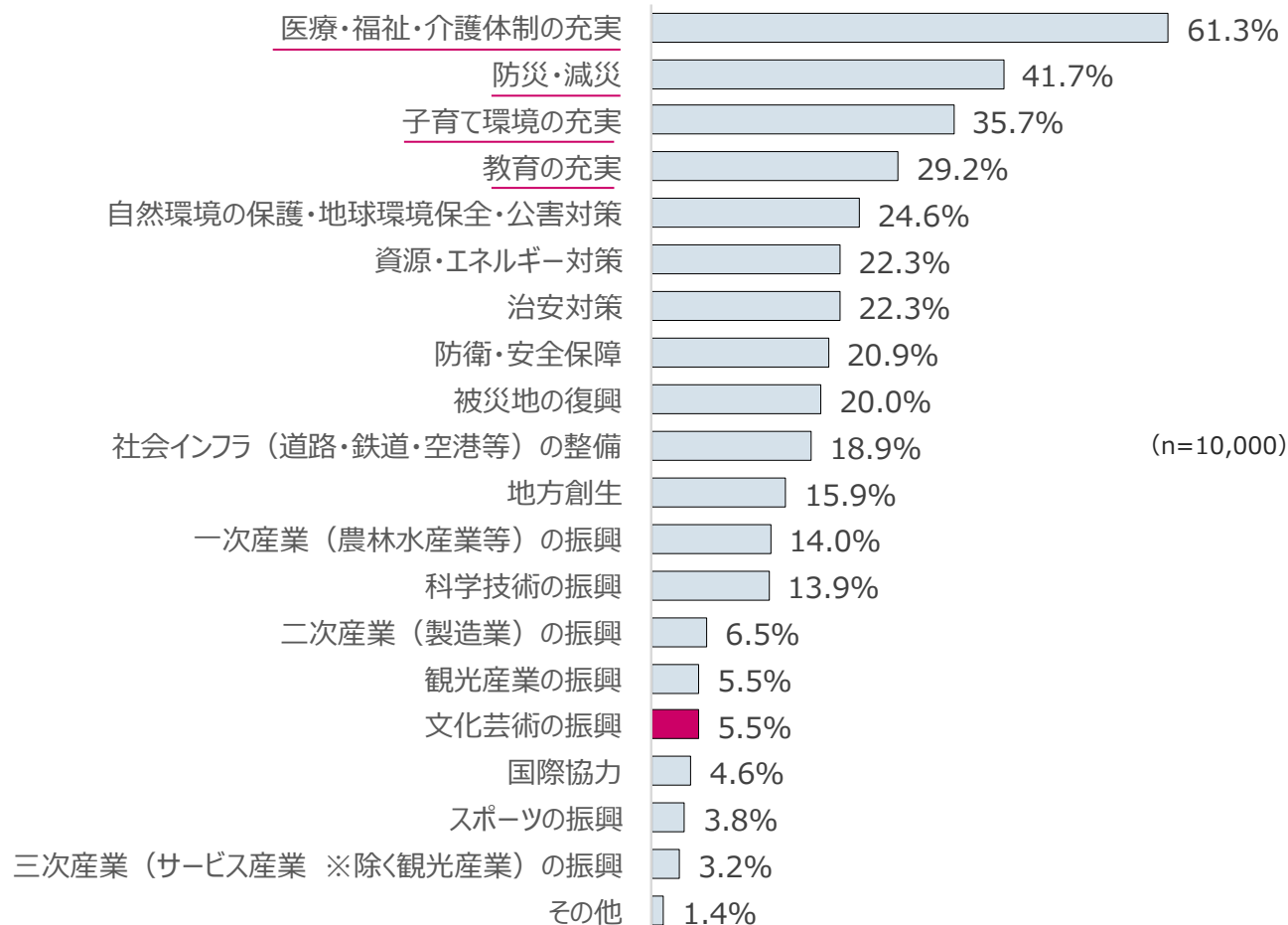
5. 行政による助成・補助や主催事業における関与について

【参考】単純集計結果等

公的支援の優先度の高い分野

⇒「医療・福祉・介護」、「防災・減災」、「子育て」、「教育」などの優先度が高いと考えられている。
「文化芸術の振興」を挙げた人は多くなかった（5.5%）。

国・自治体の予算を優先的に振り分けるべき分野 ※各回答者が最大5つまで選択



公的支援の優先度の高い分野（項目間の相関）
➡「文化芸術の振興」は「スポーツの振興」と正の相関が比較的強かった。

■「子育て環境の充実」⇔「教育の充実」、「一次産業の振興」⇔「二次産業の振興」、「二次産業の振興」⇔「三次産業の振興」の正の相関が強かった。

「国・自治体の予算を優先的に振り分けるべき分野」についての相関表

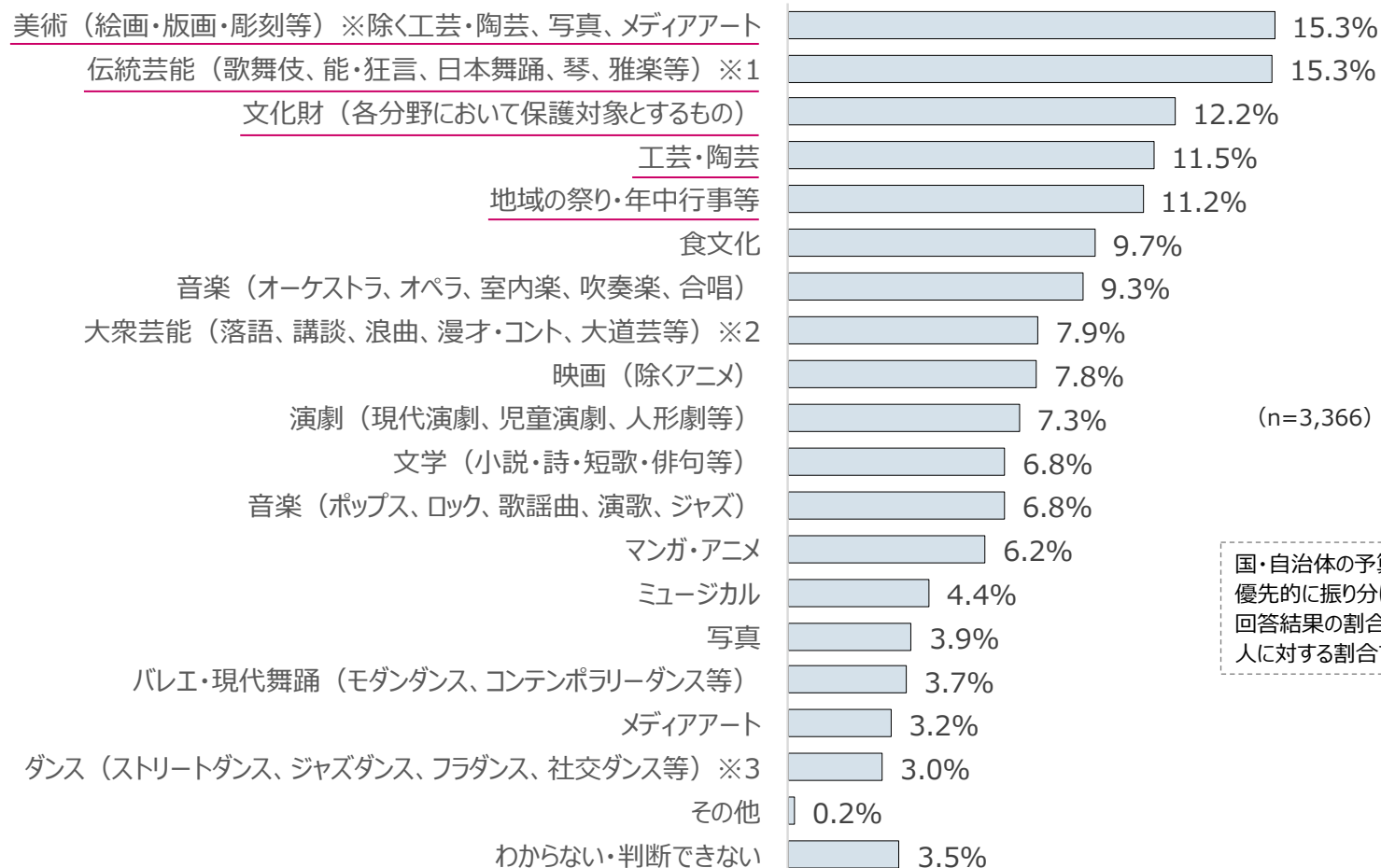
表中の数字は相関係数を表す。数字が大きいほうが相関が強い（マイナスのものは逆相関）。

	医療・福祉・介護～	防災・減災	子育て環境の充実	教育の充実	自然環境の～	資源・エネルギー対策	治安対策	防衛・安全保障	被災地の復興	社会インフラ～	地方創生	一次産業～	科学技術の振興	二次産業～	観光産業の振興	文化芸術の振興	国際協力	スポーツの振興	三次産業～	その他
医療・福祉・介護体制の充実		0.14	0.09	0.04	0.10	0.02	0.04	-0.01	0.09	0.01	-0.01	-0.02	-0.05	-0.08	-0.05	-0.06	-0.06	-0.09	-0.08	-0.10
防災・減災	0.14		-0.04	-0.03	0.10	0.05	0.10	0.06	0.14	0.04	-0.03	-0.02	-0.01	-0.05	-0.06	-0.05	-0.05	-0.07	-0.07	-0.08
子育て環境の充実	0.09	-0.04		0.30	-0.03	-0.07	-0.09	-0.07	0.00	-0.06	-0.03	-0.03	0.02	-0.07	-0.03	-0.04	-0.05	-0.03	-0.06	-0.05
教育の充実	0.04	-0.03	0.30		-0.02	-0.05	-0.06	-0.03	-0.06	-0.03	-0.05	-0.03	0.11	-0.05	-0.04	0.02	-0.03	-0.03	-0.05	-0.05
自然環境の保護・地球環境保全・公害対策	0.10	0.10	-0.03	-0.02		0.11	0.01	-0.05	0.06	-0.03	-0.02	0.02	-0.03	-0.05	-0.04	0.01	-0.01	-0.04	-0.05	-0.06
資源・エネルギー対策	0.02	0.05	-0.07	-0.05	0.11		0.02	0.10	-0.02	0.01	-0.04	0.04	0.06	-0.01	-0.04	-0.03	-0.01	-0.05	-0.04	-0.04
治安対策	0.04	0.10	-0.09	-0.06	0.01	0.02		0.13	-0.01	0.04	-0.03	-0.07	-0.06	-0.05	-0.04	-0.03	-0.02	-0.04	-0.04	-0.05
防衛・安全保障	-0.01	0.06	-0.07	-0.03	-0.05	0.10	0.13		-0.03	0.02	-0.05	-0.01	0.13	-0.01	-0.04	-0.04	0.01	-0.04	-0.01	-0.04
被災地の復興	0.09	0.14	0.00	-0.06	0.06	-0.02	-0.01	-0.03		-0.04	-0.02	-0.03	-0.09	-0.06	-0.02	-0.01	-0.01	-0.03	-0.04	-0.04
社会インフラ（道路・鉄道・空港等）の整備	0.01	0.04	-0.06	-0.03	-0.03	0.01	0.04	0.02	-0.04		-0.02	-0.03	-0.01	-0.03	0.00	-0.05	-0.01	-0.02	0.02	-0.05
地方創生	-0.01	-0.03	-0.03	-0.05	-0.02	-0.04	-0.03	-0.05	-0.02	-0.02		0.03	-0.05	0.01	0.05	-0.01	-0.03	-0.01	0.01	-0.04
一次産業（農林水産業等）の振興	-0.02	-0.02	-0.03	-0.03	0.02	0.04	-0.07	-0.01	-0.03	-0.03	0.03		0.02	0.34	0.00	-0.01	-0.04	-0.04	0.13	-0.03
科学技術の振興	-0.05	-0.01	0.02	0.11	-0.03	0.06	-0.06	0.13	-0.09	-0.01	-0.05	0.02		0.02	-0.04	0.03	0.00	-0.04	-0.01	-0.04
二次産業（製造業）の振興	-0.08	-0.05	-0.07	-0.05	-0.05	-0.01	-0.05	-0.01	-0.06	-0.03	0.01	0.34	0.02		0.02	-0.03	-0.03	-0.01	0.27	-0.02
観光産業の振興	-0.05	-0.06	-0.03	-0.04	-0.04	-0.04	-0.04	-0.04	-0.02	0.00	0.05	0.00	-0.04	0.02		0.03	0.01	0.02	0.08	-0.02
文化芸術の振興	-0.06	-0.05	-0.04	0.02	0.01	-0.03	-0.03	-0.04	-0.01	-0.05	-0.01	-0.01	0.03	-0.03	0.03		0.01	0.12	0.00	-0.03
国際協力	-0.06	-0.05	-0.05	-0.03	-0.01	-0.01	-0.02	0.01	-0.01	-0.01	-0.03	-0.04	0.00	-0.03	0.01	0.01		0.03	0.01	-0.03
スポーツの振興	-0.09	-0.07	-0.03	-0.03	-0.04	-0.05	-0.04	-0.04	-0.03	-0.02	-0.01	-0.04	-0.04	-0.01	0.02	0.12	0.03		0.00	-0.02
三次産業（サービス産業 ※除く観光産業）の振興	-0.08	-0.07	-0.06	-0.05	-0.05	-0.04	-0.04	-0.01	-0.04	0.02	0.01	0.13	-0.01	0.27	0.08	0.00	0.01	0.00		-0.01
その他	-0.10	-0.08	-0.05	-0.05	-0.06	-0.04	-0.05	-0.04	-0.04	-0.05	-0.04	-0.03	-0.04	-0.02	-0.02	-0.03	-0.03	-0.02	-0.01	

“文化芸術の中で”公的支援の優先度の高い分野

⇒「美術（絵画・版画・彫刻等）」、「伝統芸能」、「文化財」、「工芸・陶芸」、「地域の祭り・年中行事等」に優先的に予算を振り分けるべきとの回答が多かった。

国・自治体の予算を優先的に振り分けるべき文化芸術の分野 ※いくつでも選択



国・自治体の予算を「文化芸術の振興・保護」に優先的に振り分けるべきとした方のみ回答。
回答結果の割合は意図的に全サンプル10,000人に対する割合で表現している。

※1…伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、日本舞踊、琴、三味線、尺八、雅楽、声明等）

※2…大衆芸能（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽等）、

※3…ダンス（ストリートダンス、ジャズダンス、フラダンス、サルサ、フラメンコ、社交ダンス等）

1. はじめに

2. 結果のサマリー

3. 文化芸術に係る 公的支援について

文化芸術への「公的支援の是非」

公的支援の優先度の高い分野

文化芸術の「重要性」と「公的支援の是非」

4. 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う公的支援について

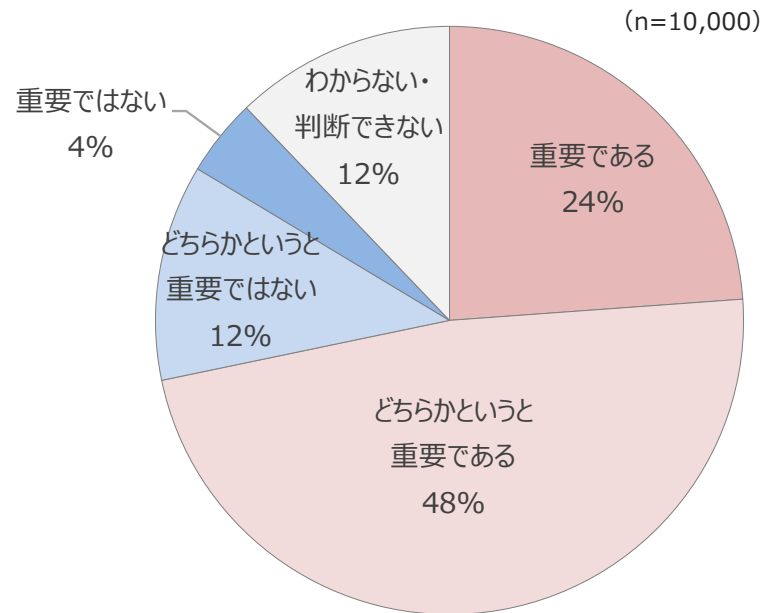
5. 行政による助成・補助や主催事業における関与について

【参考】単純集計結果等

文化芸術の「重要性」と「公的支援の是非」

⇒文化芸術は重要だと考えている人は多い（72%）。

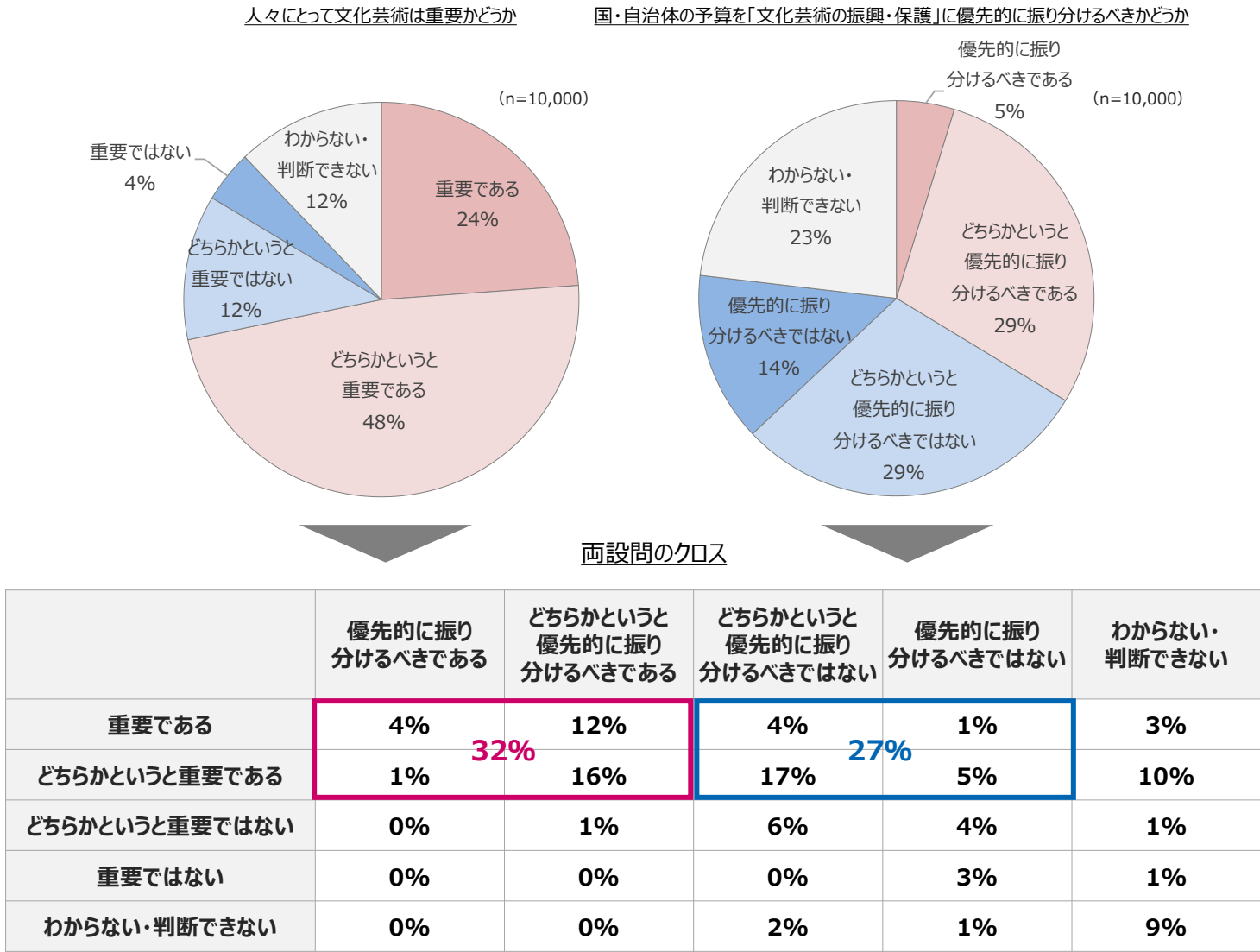
人々にとって文化芸術は重要かどうか



⇒「重要である」（72%）が
「重要でない」（16%）を大きく上回る

文化芸術の「重要性」と「公的支援の是非」

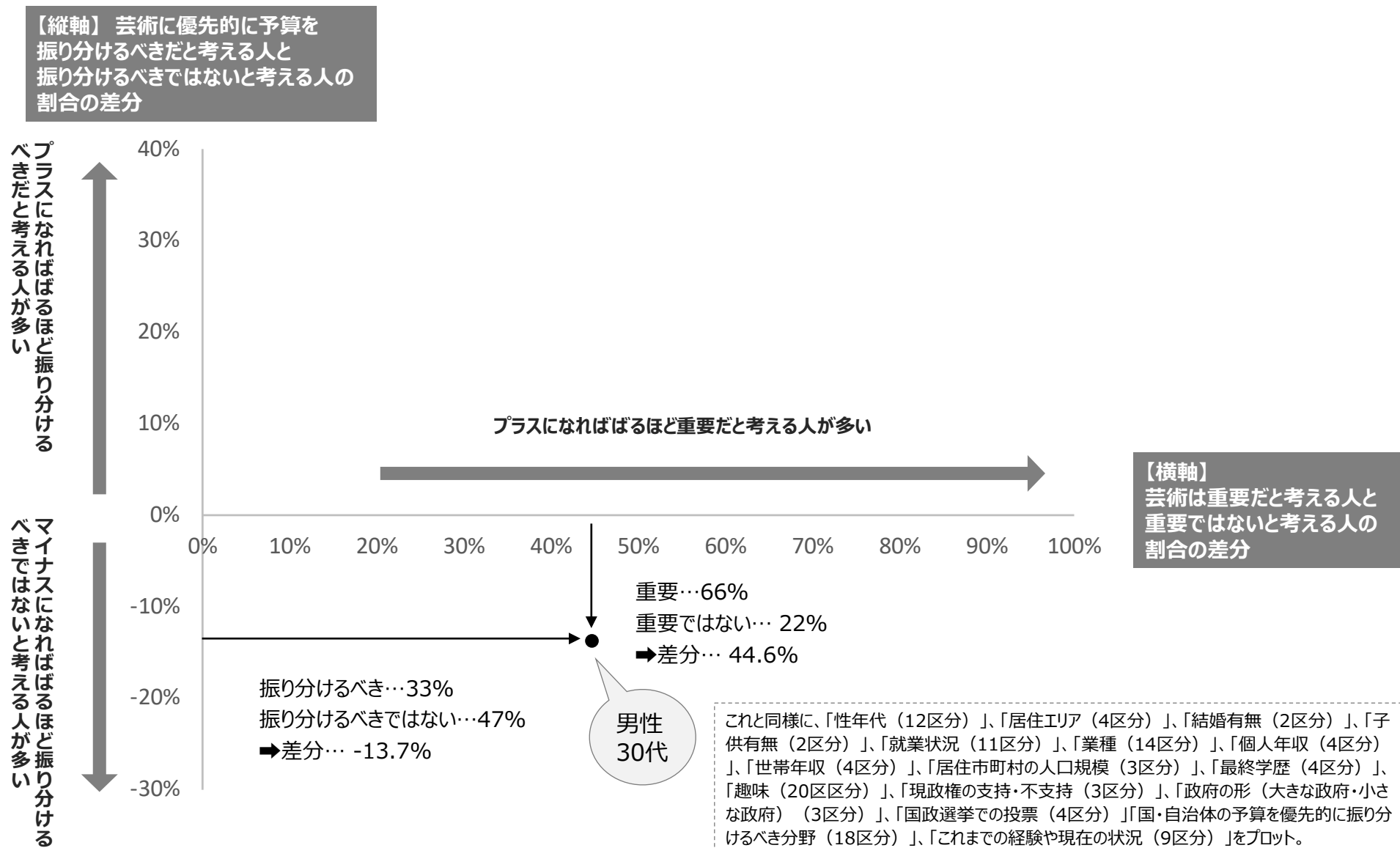
➡文化芸術が重要であると考えている人でも、予算を優先的に振り分けるべきかどうかについては割合が拮抗。



属性別の分析

参考) 図表の見方

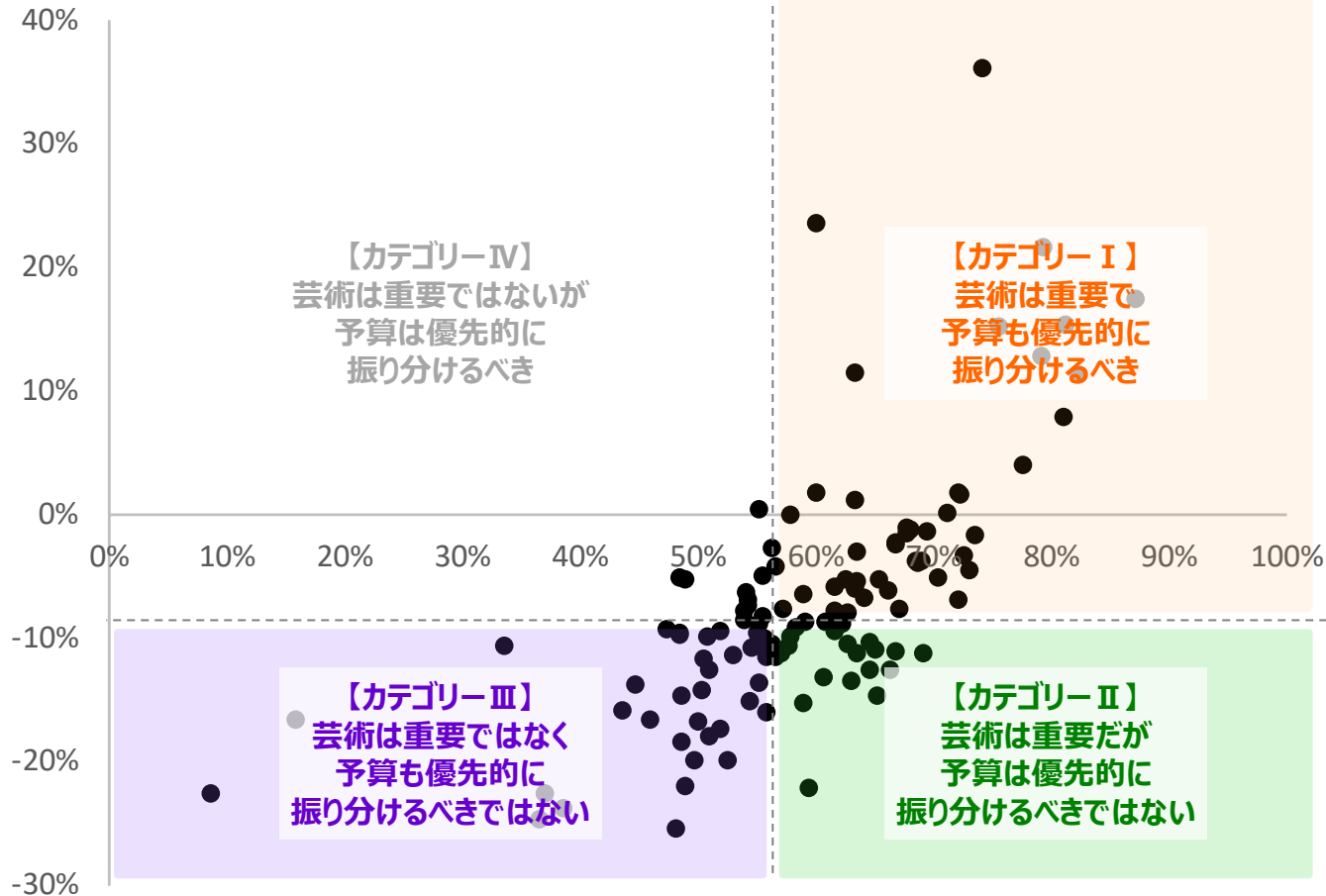
→横軸に文化芸術の「重要性」と縦軸に「公的支援の是非」の観点から、各属性別の状況をプロット。



属性別の分析

➡「重要性」と「公的支援の是非」に関する平均を基に、4つの象限に分割して分析。

【縦軸】 芸術に優先的に予算を振り分けるべきだと考える人と振り分けるべきではないと考える人の割合の差分



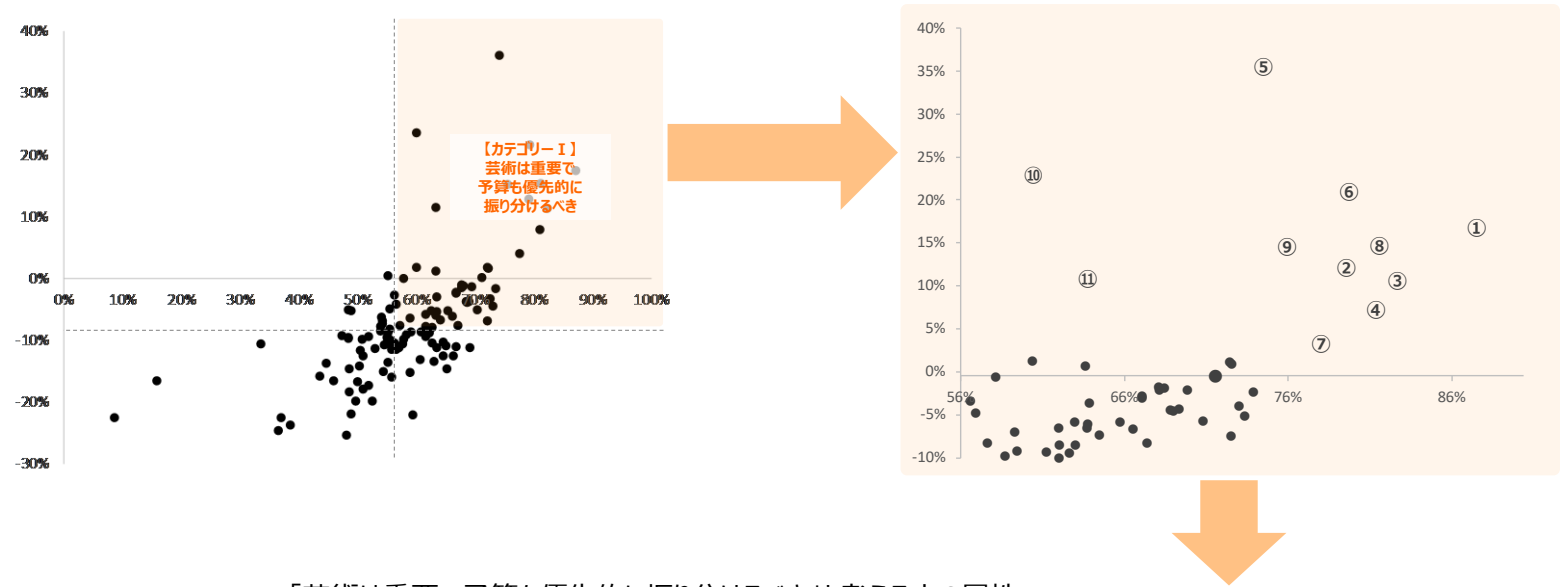
【横軸】
芸術は重要だと考える人と重要ではないと考える人の割合の差分

全回答の平均
(-9.6%)

【参考】
近似曲線は以下となり、「重要性」と「公的支援の是非」の相関は強くない。
 $y = 0.5678x - 0.4068$
 $R^2 = 0.4553$

属性別の分析（カテゴリーⅠ）

⇒「芸術は重要で予算も優先的に振り分けるべき」と考えるのは、
「芸術を趣味とする」、「芸術に従事している（していた）」人々。

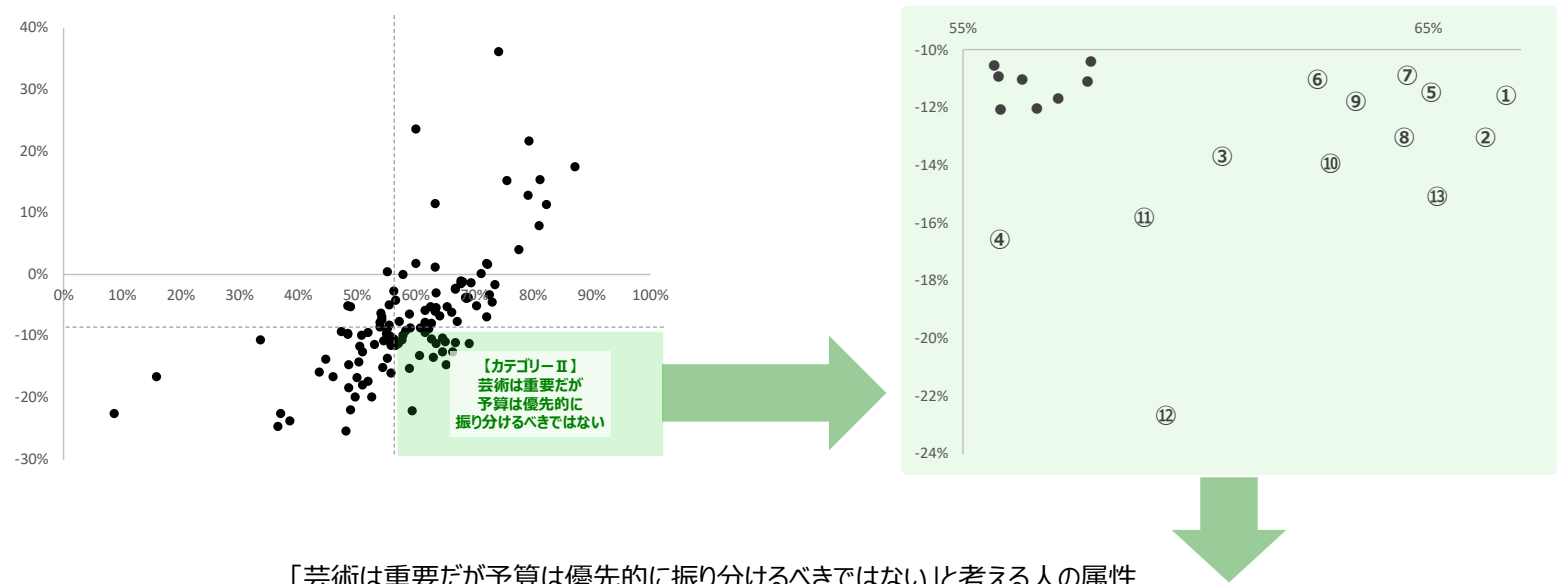


「芸術は重要で予算も優先的に振り分けるべき」と考える人の属性

属性			n数	重要 差分	予算 差分
①	趣味	美術（含む写真）の鑑賞	1,389	87%	17%
②		美術（含む写真）の制作	422	79%	13%
③		音楽・演劇・舞踊・伝統芸能・大衆芸能の鑑賞	2,407	82%	11%
④		音楽・演劇・舞踊・伝統芸能・大衆芸能の実演※カラオケ・合唱含む	1,260	81%	8%
⑤	これまでの 経験等	あなた自身が文化芸術業界の仕事をしている（していた）	382	74%	36%
⑥		文化芸術に関する仕事を行っている親族・友人がいる（いた）	725	79%	22%
⑦		子どもの頃、時々、家族と博物館・美術館に行っていた	1,897	78%	4%
⑧		子どもの頃、時々、家族と劇場・音楽堂に行っていた	1,264	81%	15%
⑨		高校・専門学校・大学・大学院の芸術系コースを卒業した	478	76%	15%
⑩	公的予算を～振 り分けるべき分野	スポーツの振興	383	60%	23%
⑪		国際協力	461	63%	11%

属性別の分析（カテゴリーⅡ）

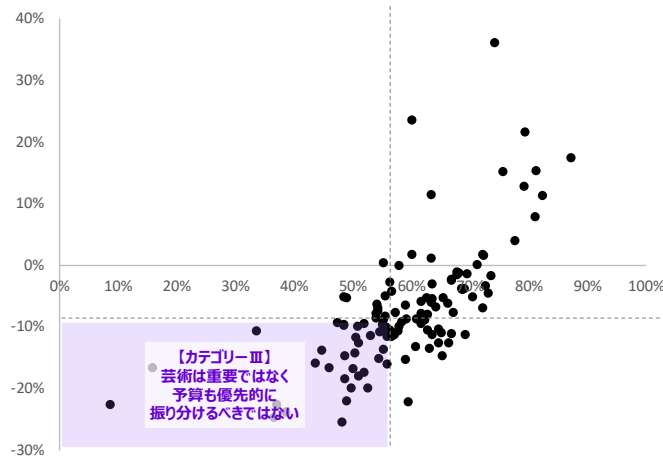
➡「芸術は重要だが予算は優先的に振り分けるべきではない」と考えるのは、
「世帯が比較的豊か」、「高学歴」で、「他に優先的に予算をつけるべき分野がある」と考える人々。



属性			n数	重要 差分	予算 差分
①	業種	銀行業・保険業	189	67%	-11%
②		専門・技術サービス業、学術研究	151	66%	-13%
③	世帯年収	800万円～	1,633	61%	-13%
④	最終学歴	大学院	441	56%	-16%
⑤	趣味	ガーデニング・園芸・庭いじり・DIY・日曜大工	1,943	65%	-11%
⑥	公的予算を優先的に振り分けるべき分野	医療・福祉・介護体制の充実	6,125	63%	-11%
⑦		子育て環境の充実	3,573	65%	-10%
⑧		科学技術の振興	1,385	64%	-13%
⑨		防災・減災	4,165	63%	-11%
⑩		一次産業（農林水産業等）の振興	1,404	63%	-13%
⑪		社会インフラ（道路・鉄道・空港等）の整備	1,885	59%	-15%
⑫		防衛・安全保障	2,091	59%	-22%
⑬		資源・エネルギー対策	2,229	65%	-15%

属性別の分析（カテゴリーⅢ）

➡「芸術は重要ではなく予算も優先的に振り分けるべきではない」と考えるのは、
「男性30～50代」、「公務員（正職員）」、「“小さな政府”を志向する」、「選挙で投票しない」人々。



「芸術は重要ではなく予算も優先的に振り分けるべきではない」と考える人の属性

属性			n数	重要 差分	予算 差分
①	性年代	男性40代	877	39%	-24%
②		男性50代	820	52%	-17%
③	就労状況	公務員（正職員）	309	49%	-22%
④	業種	製造業	893	46%	-17%
⑤		通信業・情報サービス業	272	50%	-20%
⑥		卸売・小売業（スーパー・コンビニ・飲食品等）	103	49%	-18%
⑦	個人年収	700万円～	667	51%	-18%
⑧	趣味	パチンコ・公営ギャンブル（競馬・競輪・競艇等）・宝くじ	867	50%	-17%
⑨		趣味はない	847	9%	-23%
⑩	これまでの経験等	あてはまるものはない	5,207	43%	-16%
⑪	政府の形	小さな政府	2,121	36%	-25%
⑫	国政選挙での投票	あまり投票していない・ほぼ毎回投票していない	1,533	37%	-23%
⑬	投票	わからない・判断できない	432	16%	-17%
⑭	公的予算を～振り分けるべき分野	二次産業（製造業）の振興	645	48%	-25%
⑮		治安対策	2,228	52%	-20%

1. はじめに

2. 結果のサマリー

3. 文化芸術に係る 公的支援について

文化芸術への「公的支援の是非」

公的支援の優先度の高い分野

文化芸術の「重要性」と「公的支援の是非」

4. 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う公的支援について

5. 行政による助成・補助や主催事業における関与について

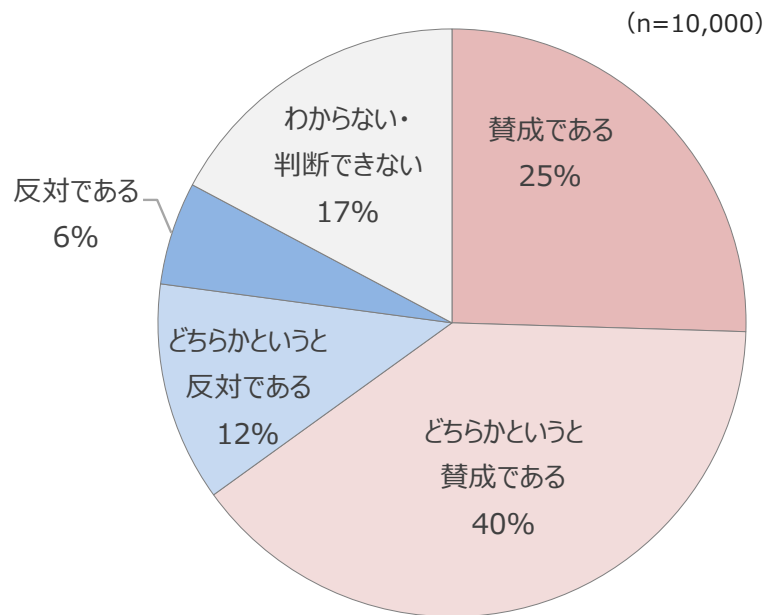
【参考】単純集計結果等

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う特定の業種と文化芸術の支援の是非

➡特定の業種への支援は65%が賛成（反対18%）、
文化芸術に従事している団体・個人への支援も52%が賛成（反対25%）であった。

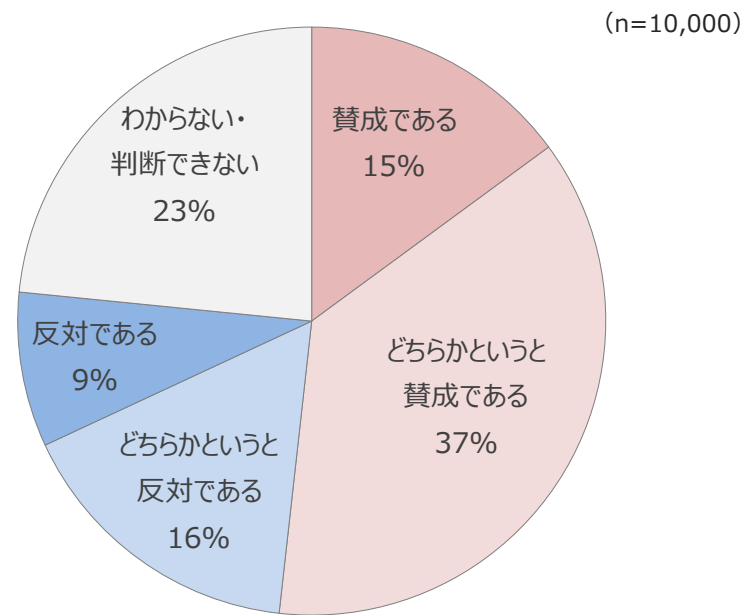
新型コロナウイルスの感染拡大に伴い

国・自治体が「特定の業種」の支援（給付金の支給・
助成・融資・義務の免除等）を行うことについて



➡「賛成」(65%) が
「反対」(18%) を大きく上回る

国・自治体が「文化芸術に従事している
団体や個人」に特定の支援を行うことについて

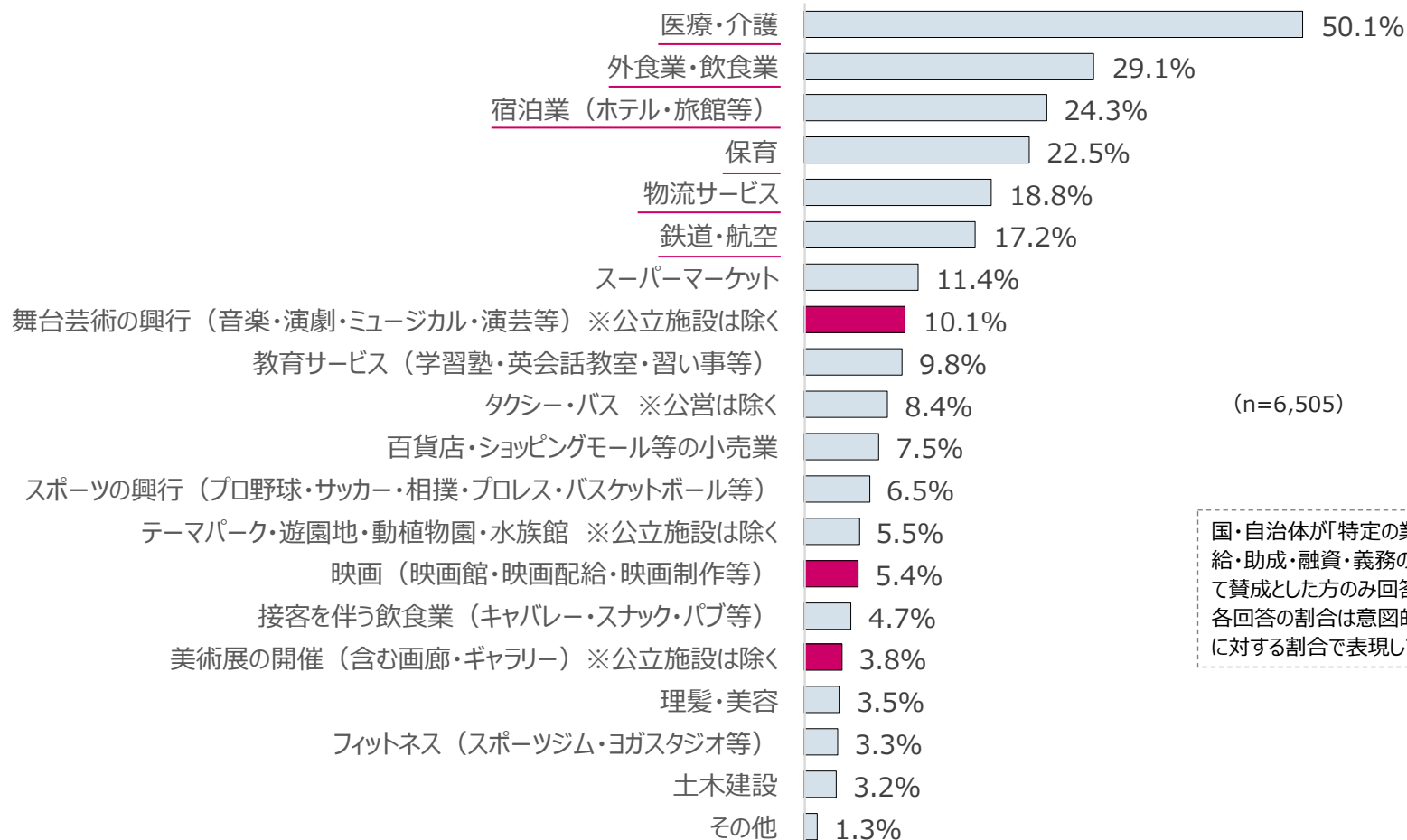


➡「賛成」(52%) が
「反対」(25%) を大きく上回る

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い優先的に支援すべき分野

⇒「医療・介護」、「外食業・飲食業」、「宿泊業」、「保育」、「物流サービス」、「鉄道・航空」を優先的に支援すべきであると考えている。文化芸術関連では「舞台芸術の興行」の割合が比較的高い。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い国・自治体が優先的に支援すべき分野について ※各回答者が最大5つまで選択



(n=6,505)

国・自治体が「特定の業種」を支援（給付金の支給・助成・融資・義務の免除等）を行うことについて賛成とした方のみ回答。
各回答の割合は意図的に全サンプル10,000人に対する割合で表現している。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い優先的に支援すべき分野（項目間の相関）
➡当然ながら「舞台芸術」・「映画」・「美術展」の相互相関は強いが、そのほかに、
「舞台芸術」は「スポーツ」、「映画」は「テーマパーク」との相関が比較的強かった。

■ 「医療・介護」⇔「保育」、「外食業・飲食業」⇔「宿泊業」、「スーパーマーケット」⇔「物流サービス」の正の相関が強かった。

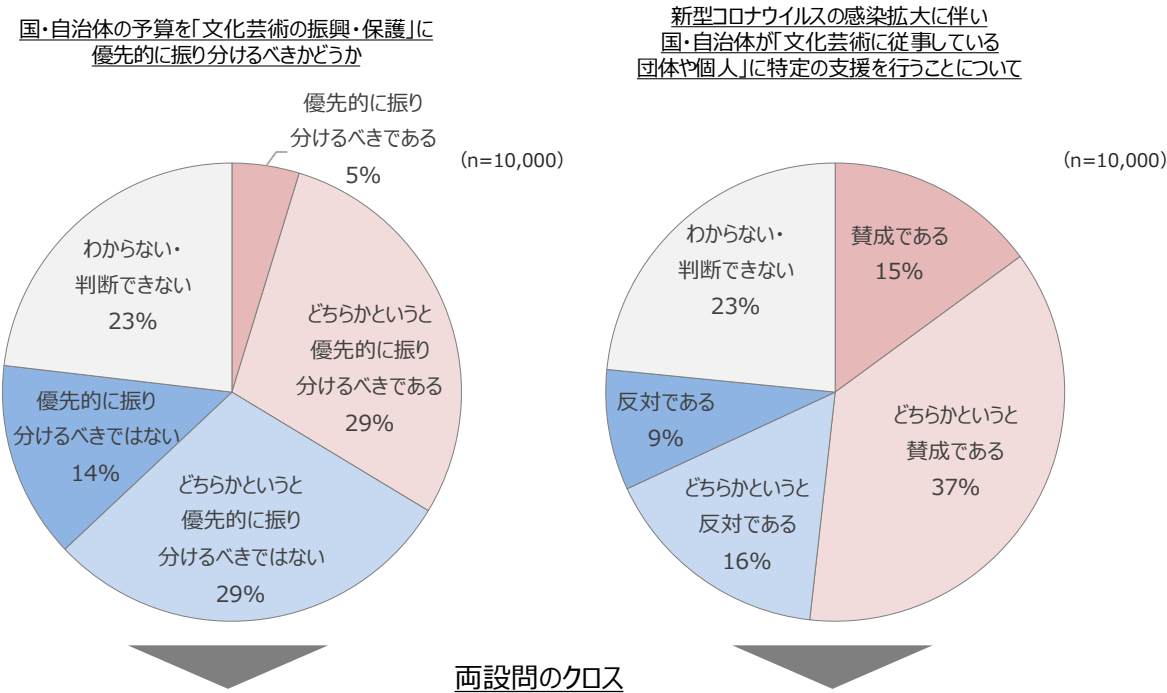
「新型コロナウイルスの感染拡大に伴い優先的に支援すべき分野」についての相関表

表中の数字は相関係数を表す。数字が大きいほうが相関が強い（マイナスのものは逆相関）。

	医療・ 介護	外食 業・飲 食業	宿泊 業～	保育	物流 サービ ス	鉄道・ 航空	スー パー マー ケット	舞台 芸術 の興 行～	教育 サービ ス～	タク シー・ バス～	百貨 店～	スポー ツの興 行～	テーマ パーク ～	映画 ～	接客 を伴う 飲食業 ～	美術 展の開 催～	理髪・ 美容	フィット ネス～	土木 建設	その他
医療・介護		0.04	0.02	0.30	0.16	0.06	0.04	-0.06	0.03	-0.03	-0.10	-0.13	-0.10	-0.11	-0.11	-0.08	-0.05	-0.15	0.00	-0.14
外食業・飲食業	0.04		0.28	-0.04	-0.09	-0.03	-0.05	0.01	-0.08	0.05	0.07	-0.02	0.02	-0.01	0.15	-0.10	0.02	0.03	-0.07	-0.08
宿泊業（ホテル・旅館等）	0.02	0.28		-0.07	-0.13	0.06	-0.15	0.05	-0.09	0.09	0.02	-0.01	0.06	0.01	0.07	-0.05	0.00	0.03	-0.06	-0.07
保育	0.30	-0.04	-0.07		0.15	-0.02	0.05	-0.06	0.09	-0.06	-0.11	-0.09	-0.07	-0.08	-0.08	-0.04	-0.03	-0.10	-0.01	-0.05
物流サービス	0.16	-0.09	-0.13	0.15		0.16	0.19	-0.11	0.00	0.00	-0.03	-0.08	-0.09	-0.10	-0.11	-0.07	-0.02	-0.10	0.07	-0.04
鉄道・航空	0.06	-0.03	0.06	-0.02	0.16		0.01	-0.07	-0.01	0.15	-0.02	-0.02	-0.01	-0.07	-0.07	-0.06	-0.05	-0.07	0.05	-0.06
スーパーマーケット	0.04	-0.05	-0.15	0.05	0.19	0.01		-0.14	0.00	-0.03	0.14	-0.06	-0.05	-0.07	-0.07	-0.07	0.02	-0.05	0.03	-0.04
舞台芸術の興行（音楽・演劇・ミュージカル・演芸等）※公立施設は除く	-0.06	0.01	0.05	-0.06	-0.11	-0.07	-0.14		-0.04	-0.06	-0.05	0.16	0.04	0.24	-0.01	0.31	-0.04	0.04	-0.05	-0.05
教育サービス（学習塾・英会話教室・習い事等）	0.03	-0.08	-0.09	0.09	0.00	-0.01	0.00	-0.04		-0.05	-0.04	-0.01	-0.03	-0.04	-0.05	0.00	-0.01	-0.02	0.00	-0.05
タクシー・バス ※公営は除く	-0.03	0.05	0.09	-0.06	0.00	0.15	-0.03	-0.06	-0.05		0.00	-0.05	-0.03	-0.04	0.02	-0.04	0.03	0.00	-0.04	-0.04
百貨店・ショッピングモール等の小売業	-0.10	0.07	0.02	-0.11	-0.03	-0.02	0.14	-0.05	-0.04	0.00		-0.01	0.02	-0.02	0.02	-0.03	0.04	0.01	-0.01	-0.04
スポーツの興行（プロ野球・サッカー・相撲・プロレス・バスケットボール等）	-0.13	-0.02	-0.01	-0.09	-0.08	-0.02	-0.06	0.16	-0.01	-0.05	-0.01		0.09	0.10	-0.01	0.07	-0.03	0.06	-0.04	-0.04
テーマパーク・遊園地・動植物園・水族館※公立施設は除く	-0.10	0.02	0.06	-0.07	-0.09	-0.01	-0.05	0.04	-0.03	-0.03	0.02	0.09		0.12	0.01	0.05	0.00	0.02	-0.03	-0.03
映画（映画館・映画配給・映画制作等）	-0.11	-0.01	0.01	-0.08	-0.10	-0.07	-0.07	0.24	-0.04	-0.04	-0.02	0.10	0.12		-0.01	0.19	-0.01	0.05	-0.03	-0.04
接客を伴う飲食業（キャバレー・スナック・パブ等）	-0.11	0.15	0.07	-0.08	-0.11	-0.07	-0.07	-0.01	-0.05	0.02	0.02	-0.01	0.01	-0.01		-0.02	0.01	0.11	-0.02	-0.03
美術展の開催（含む画廊・ギャラリー）※公立施設は除く	-0.08	-0.10	-0.05	-0.04	-0.07	-0.06	-0.07	0.31	0.00	-0.04	-0.03	0.07	0.05	0.19	-0.02		-0.02	0.00	-0.04	-0.04
理髪・美容	-0.05	0.02	0.00	-0.03	-0.02	-0.05	0.02	-0.04	-0.01	0.03	0.04	-0.03	0.00	-0.01	0.01	-0.02		0.04	0.00	-0.01
フィットネス（スポーツジム・ヨガスタジオ等）	-0.15	0.03	0.03	-0.10	-0.10	-0.07	-0.05	0.04	-0.02	0.00	0.01	0.06	0.02	0.05	0.11	0.00	0.04		-0.01	-0.03
土木建設	0.00	-0.07	-0.06	-0.01	0.07	0.05	0.03	-0.05	0.00	-0.04	-0.01	-0.04	-0.03	-0.03	-0.02	-0.04	0.00	-0.01		0.00
その他	-0.14	-0.08	-0.07	-0.05	-0.04	-0.06	-0.04	-0.05	-0.05	-0.04	-0.04	-0.04	-0.03	-0.04	-0.03	-0.04	-0.01	-0.03	0.00	

文化芸術への「公的支援の是非」と「新型コロナウイルスの感染拡大に伴う支援の是非」

⇒全体の16%は「通常は文化芸術に予算を振り分けるべきではない」が
新型コロナウイルスの感染拡大に伴っては「支援に賛成」だと考えている。

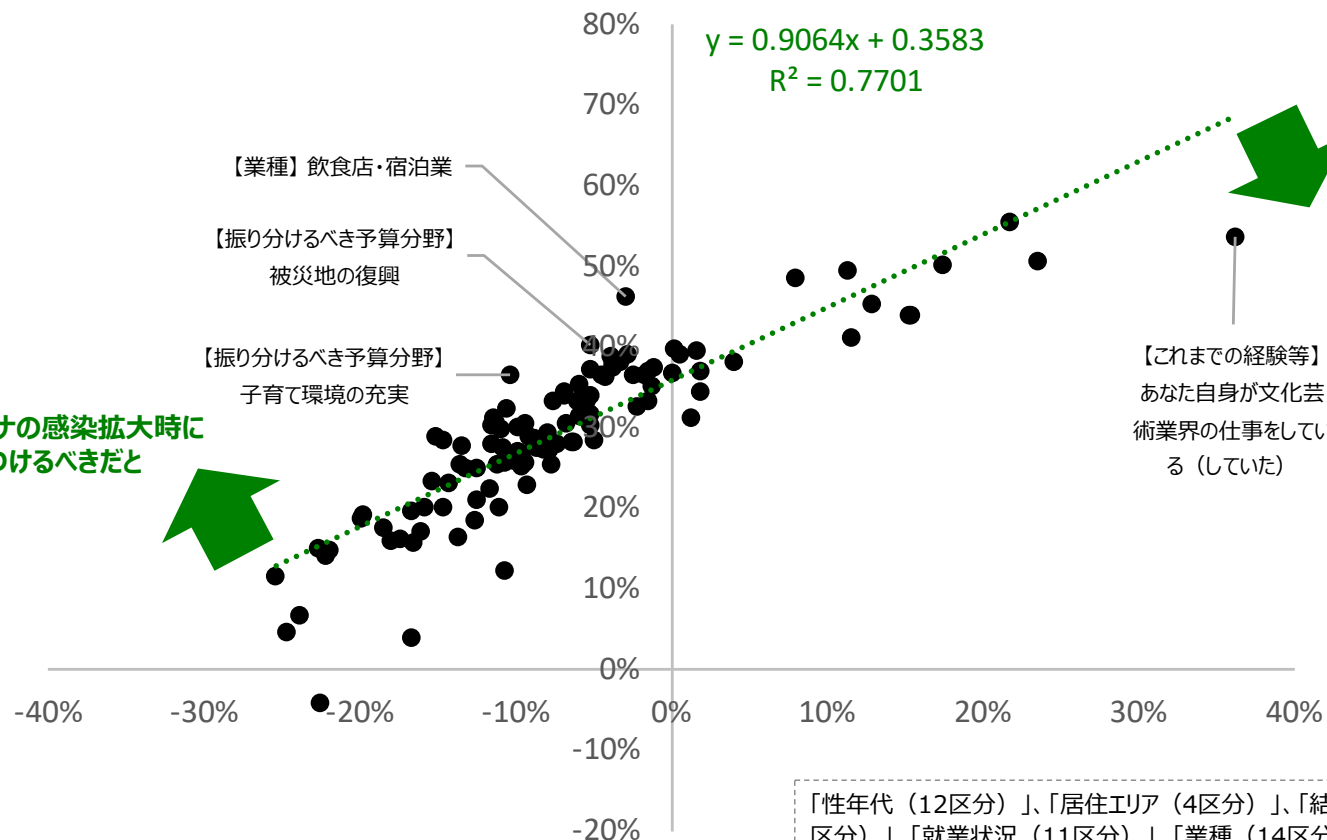


	賛成である	どちらかという賛成である	どちらかという反対である	反対である	わからない・判断できない
優先的に振り分けるべきである	3%	1%	0%	0%	0%
どちらかという優先的に振り分けるべきである	7%	17%	2%	0%	2%
どちらかという優先的に振り分けるべきではない	2%	11%	9%	2%	5%
優先的に振り分けるべきではない	1%	2%	4%	6%	2%
わからない・判断できない	2%	6%	1%	1%	13%

文化芸術への「公的支援の是非」と「新型コロナウイルスの感染拡大に伴う支援の是非」

⇒相互に比較的強い相関がみられた。

【縦軸】 新型コロナを受け芸術を
支援すべきだと考える人と
支援すべきではない
と考える人の割合の差分



「性年代（12区分）」、「居住エリア（4区分）」、「結婚有無（2区分）」、「子供有無（2区分）」、「就業状況（11区分）」、「業種（14区分）」、「個人年収（4区分）」、「世帯年収（4区分）」、「居住市町村の人口規模（3区分）」、「最終学歴（4区分）」、「趣味（20区分）」、「現政権の支持・不支持（3区分）」、「政府の形（大きな政府・小さな政府）（3区分）」、「国・自治体の予算を優先的に振り分けるべき分野（18区分）」、「これまでの経験や現在の状況（9区分）」をプロット。

1. はじめに

2. 結果のサマリー

3. 文化芸術に係る 公的支援について

文化芸術への「公的支援の是非」

公的支援の優先度の高い分野

文化芸術の「重要性」と「公的支援の是非」

4. 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う公的支援について

5. 行政による助成・補助や主催事業における関与について

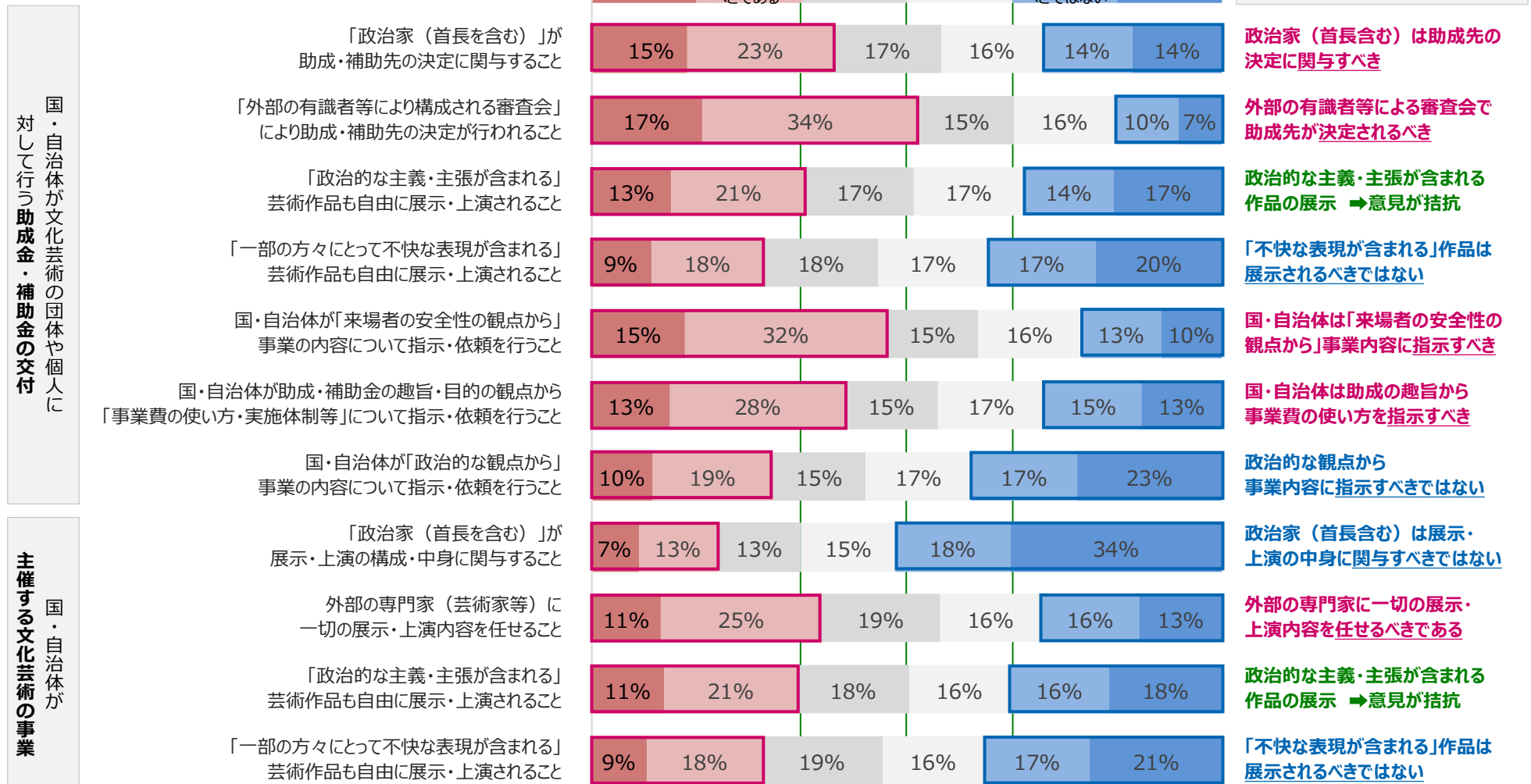
【参考】単純集計結果等

関与に関する考え方

➡多くのお金のおし手である国・自治体が事業の内容に関与してはならないとは考えていない。
また、「一部の方々にとって不快な表現が含まれる」作品展示は「行われるべきではない」と考えている。

国・自治体の文化芸術の助成金・補助金、主催事業に係る意見

(n=10,000)



「あいちトリエンナーレ」の認知と関与に関する考え方

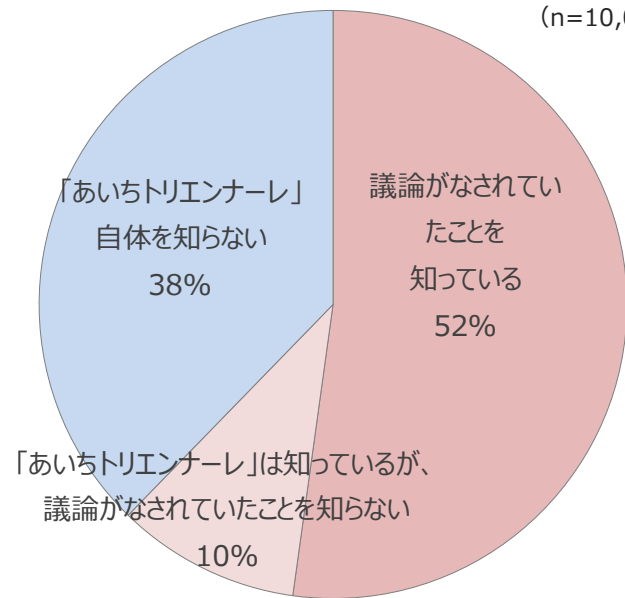
➡あいちトリエンナーレに係る議論は52%が認知。これらの人々は、
国・自治体が政治的な観点から事業の内容に関与すべきではないと考える傾向。

あいちトリエンナーレに係る議論の認知状況別の
国・自治体の文化芸術の助成金・補助金、主催事業に係る意見

凡例
議論がなされていたことを知っている
議論がなされていたことを知らない
行われるべきである
行われるべきではない

あいちトリエンナーレに係る議論の認知

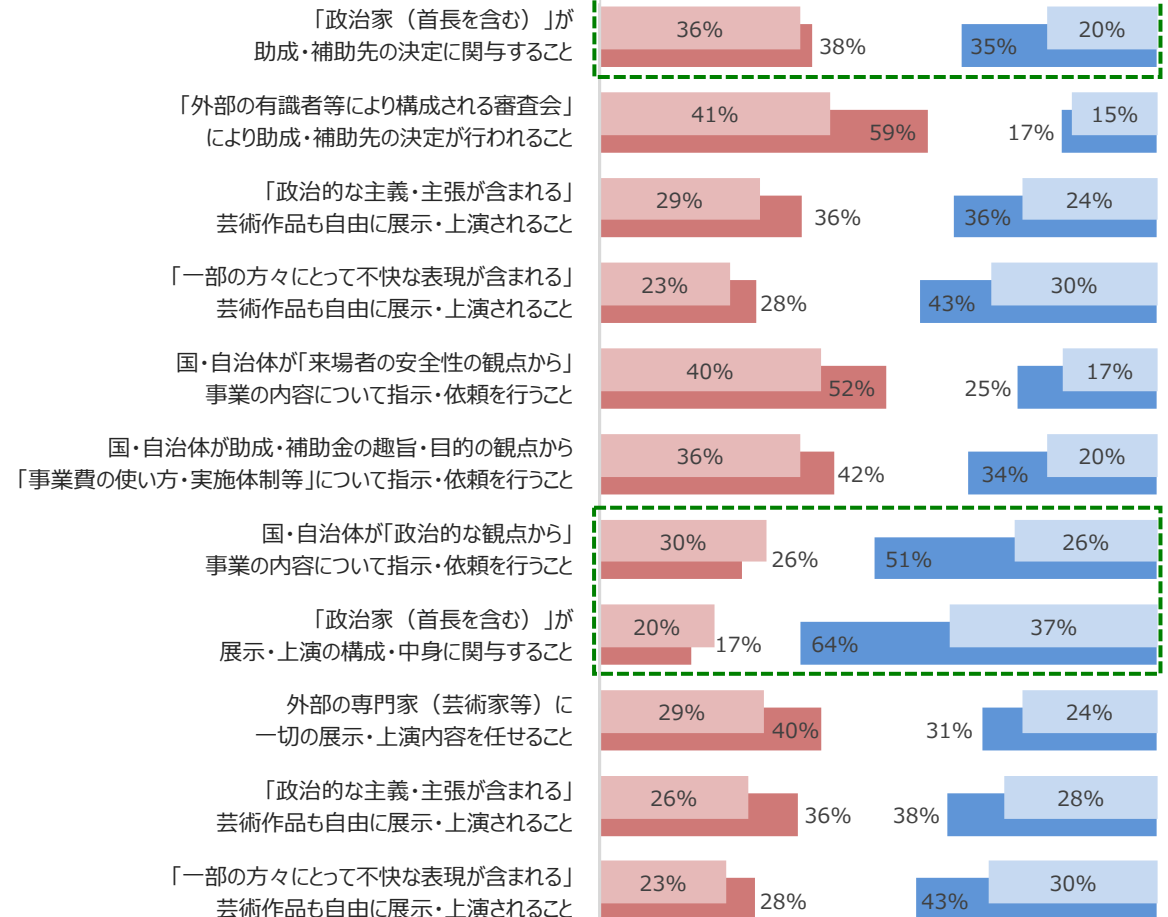
(n=10,000)



※調査の際の設問では、「あいちトリエンナーレ…愛知県で3年に1度開催される国内最大級の現代アートの祭典」と注意書きを行っている。

助成金・補助金の交付

主催する事業



関与に関する考え方（属性別分析）：「趣味が美術鑑賞の人」・「芸術に予算を振り分けるべきと考える人」
➡全体と比較し、外部の専門家に任せ、「政治的な主義・主張」・「一部の方々にとって不快な表現」が含まれる作品も自由に展示されるべきと考える傾向。ただし、趣味の人は「安全性の観点からの指示」はすべきと考える。

- 「あいちトリエンナーレ」は美術を主体とし、主に公的予算で実施される事業であるため、関心が高いと思われる「美術（含む写真）の鑑賞が趣味」の人、公的予算を優先的に振り分けるべき分野で「文化芸術の振興」を選択した人とのクロス分析を行った。

国・自治体の文化芸術の助成金・補助金、主催事業に係る意見

項目		全体 (n=10,000)			「美術（含む写真）の 鑑賞」が趣味（n=1,389）			公的予算を優先的に振り分けるべき 分野で「文化芸術の振興」を選択 (n=549)		
		行われるべきである	行われるべきではない	差分	行われるべきである	行われるべきではない	差分	行われるべきである	行われるべきではない	差分
助成金・補助金の交付	「政治家（首長を含む）」が助成・補助先の決定に関与すること	38%	29%	10%	39%	34%	5%	42%	34%	8%
	「外部の有識者等により構成される審査会」により助成・補助先の決定が行われること	52%	17%	35%	62%	14%	48%	62%	16%	46%
	「政治的な主義・主張が含まれる」芸術作品も自由に展示・上演されること	34%	32%	2%	42%	30%	12%	49%	27%	22%
	「一部の方々にとって不快な表現が含まれる」芸術作品も自由に展示・上演されること	27%	37%	-10%	34%	34%	-1%	42%	30%	12%
主	国・自治体が「来場者の安全性の観点から」事業の内容について指示・依頼を行うこと	47%	22%	24%	54%	22%	32%	47%	31%	16%
	国・自治体が助成・補助金の趣旨・目的の観点から「事業費の使い方・実施体制等」について指示・依頼を行うこと	40%	28%	12%	44%	31%	13%	40%	35%	5%
	国・自治体が「政治的な観点から」事業の内容について指示・依頼を行うこと	29%	40%	-11%	27%	48%	-21%	28%	51%	-23%
催す事業	「政治家（首長を含む）」が展示・上演の構成・中身に関与すること	20%	52%	-32%	18%	63%	-45%	20%	63%	-43%
	外部の専門家（芸術家等）に一切の展示・上演内容を任せること	36%	29%	8%	45%	26%	18%	49%	27%	22%
	「政治的な主義・主張が含まれる」芸術作品も自由に展示・上演されること	33%	34%	-1%	41%	30%	11%	50%	28%	22%
	「一部の方々にとって不快な表現が含まれる」芸術作品も自由に展示・上演されること	27%	38%	-11%	33%	35%	-2%	43%	31%	11%

関与に関する考え方（属性別分析）：公務員（正職員）

➡全体と比較して、「政治的な主義・主張」・「一部の方々にとって不快な表現」が含まれる芸術作品は自由に展示されるべきではないと考える傾向。

■「あいちトリエンナーレ」は、主に公的予算で実施される事業であるため、公的予算を仕事として扱う「公務員（正職員）」とのクロス分析を行った。

国・自治体の文化芸術の助成金・補助金、主催事業に係る意見

項目		全体 (n=10,000)			公務員（正職員） (n=309)		
		行われるべきである	行われるべきではない	差分	行われるべきである	行われるべきではない	差分
助成金・補助金の交付	「政治家（首長を含む）」が助成・補助先の決定に関与すること	38%	29%	10%	43%	31%	12%
	「外部の有識者等により構成される審査会」により助成・補助先の決定が行われること	52%	17%	35%	53%	23%	29%
	「政治的な主義・主張が含まれる」芸術作品も自由に展示・上演されること	34%	32%	2%	33%	35%	-2%
	「一部の方々にとって不快な表現が含まれる」芸術作品も自由に展示・上演されること	27%	37%	-10%	27%	41%	-14%
	国・自治体が「来場者の安全性の観点から」事業の内容について指示・依頼を行うこと	47%	22%	24%	46%	28%	17%
	国・自治体が助成・補助金の趣旨・目的の観点から「事業費の使い方・実施体制等」について指示・依頼を行うこと	40%	28%	12%	45%	29%	16%
	国・自治体が「政治的な観点から」事業の内容について指示・依頼を行うこと	29%	40%	-11%	29%	45%	-15%
主催する事業	「政治家（首長を含む）」が展示・上演の構成・中身に関与すること	20%	52%	-32%	21%	50%	-29%
	外部の専門家（芸術家等）に一切の展示・上演内容を任せること	36%	29%	8%	37%	32%	4%
	「政治的な主義・主張が含まれる」芸術作品も自由に展示・上演されること	33%	34%	-1%	32%	40%	-8%
	「一部の方々にとって不快な表現が含まれる」芸術作品も自由に展示・上演されること	27%	38%	-11%	28%	41%	-14%

1. はじめに

2. 結果のサマリー

3. 文化芸術に係る 公的支援について

文化芸術への「公的支援の是非」

公的支援の優先度の高い分野

文化芸術の「重要性」と「公的支援の是非」

4. 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う公的支援について

5. 行政による助成・補助や主催事業における関与について

【参考】単純集計結果等

設問一覧（１／２）

タイトル	設問文
性別	あなたの性別をお知らせください。【SA】
年代	あなたの年齢をお知らせください。【FA】
結婚有無	あなたは結婚していらっしゃいますか。【SA】
子供有無	あなたはお子様がいっぱいますか。【SA】
居住エリア	あなたが住まいの都道府県をお知らせください。【SA】
居住市町村の人口規模	あなたが、現在住んでいる市町村の人口規模はどのくらいですか。あてはまるものを1つだけ選択してください。【SA】
就労状況	あなたの就業状況をお知らせください。【SA】
業種	あなたが主に従事している業種をお知らせください。会社員の方はお勤めの会社の主たる業種をお知らせください。【SA】
個人年収	失礼ですが、あなたご自身の年収は大体どの位ですか。【SA】
世帯年収	失礼ですが、あなたのお宅の世帯年収は大体どの位ですか。【SA】
最終学歴	あなたが、最後に卒業した学校は次のうちどれですか。あてはまるものを1つだけ選択してください。【SA】
趣味	あなたの趣味はどのようなものですか。あてはまるものを全て選択してください。※過去に趣味としていたものも選択してください。【MA】
趣味（音楽・演劇・舞踊・伝統芸能・大衆芸能の鑑賞）の内訳	あなたは、音楽・演劇・舞踊・伝統芸能・大衆芸能のうち、どのような分野の「鑑賞」を趣味としていますか。あてはまるものを全て選択してください。※過去に趣味としていたものも選択してください。【MA】
趣味（音楽・演劇・舞踊・伝統芸能・大衆芸能の実演）の内訳	あなたは、音楽・演劇・舞踊・伝統芸能・大衆芸能のうち、どのような分野の「実演」を趣味としていますか。あてはまるものを全て選択してください。※過去に趣味としていたものも選択してください。【MA】
各分野の鑑賞頻度	あなたは、2019年の1年間に、美術館・映画館・劇場・音楽堂等で次の分野を直接鑑賞しましたか。それぞれの頻度につき最もあてはまるものを1つずつ選択してください。
これまでの経験等	あなたのこれまでの経験や現在の状況について、次のうちからあてはまるものを全て選択してください。【MA】
現政権の支持・不支持	あなたは、自民党・公明党連立政権を支持しますか。それとも支持しませんか。最も考えに近いものを1つ選択してください。【SA】
政府の形	あなたは、今後の日本の在り方についてどのように考えますか。最も考えに近いものを1つ選択してください。【SA】 A：国民（含む法人）の税負担は大きい、社会保障等の行政サービスが充実している社会を目指す B：社会保障等の行政サービスは充実していない、国民（含む法人）の税負担は小さな社会を目指す
投票状況 ※25歳以上のみ回答	あなたは、過去に行われた次のような選挙でどの程度投票していますか。それぞれ最もあてはまるものを1つずつ選択してください。
公的予算を優先的に振り分けるべき分野	あなたは、国・自治体の予算を特にどのような分野に優先的に振り分けるべきだと考えますか。優先度が高いと考えるものを5つまで選択してください。【MA】
“文化芸術の中で”公的支援の優先度の高い分野	では、どのような文化芸術の分野に、国・自治体の予算を優先的に振り分けるべきだと思いますか。あてはまるものを全て選択してください。【MA】

設問一覧（2／2）

タイトル	設問文
文化芸術の重要性	あなたは、人々にとって文化芸術は重要だと考えますか。それとも重要ではないと考えますか。最も考えに近いものを1つ選択してください。【SA】
文化芸術の公的支援の是非	あなたは、国・自治体の予算を「文化芸術の振興・保護」に優先的に振り分けるべきだと考えますか。最も考えに近いものを1つ選択してください。【SA】
新型コロナに伴う特定の業種の支援の是非	あなたは、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、国・自治体が「特定の業種」の団体や個人を対象に公的支援（給付金の支給・助成・融資・義務の免除等）を行うことについてどのように考えますか。最も考えに近いものを1つ選択してください。【SA】
新型コロナに伴う文化芸術の支援の是非	あなたは、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、「文化芸術に従事している団体や個人」に対して国・自治体が特定の支援を行うことについてどのように考えますか。最も考えに近いものを1つ選択してください。【SA】
新型コロナウイルスの感染拡大に伴い優先的に支援すべき分野	あなたは、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、国・自治体は、特にどのような業種の団体や個人を優先的に支援すべきだと考えますか。優先度が高いと考えるものを5つまで選択してください。【MA】
行政による助成・補助における関与	あなたは、国・自治体が文化芸術の団体や個人に対して行う助成金・補助金の交付において、次の事柄が行われるべきだと考えますか。それとも、行われるべきではないと考えますか。それぞれ最も考えに近いものを1つずつ選択してください。
行政の主催事業における関与	あなたは、国・自治体が主催（全ての事業費を負担）する文化芸術の事業において、次の事柄が行われるべきだと考えますか。それとも、行われるべきではないと考えますか。それぞれ最も考えに近いものを1つずつ選択してください。
あいちトリエンナーレ認知	あなたは、昨年、「あいちトリエンナーレ※」の一部である「表現の不自由展、その後」の展示が中止になった件をめぐり様々な議論がなされていたことをご存知でしたか。※あいちトリエンナーレ…愛知県で3年に1度開催される国内最大級の現代アートの祭典【SA】

単純集計結果（1 / 12）

タイトル	設問文	選択肢	n数	割合
性別	あなたの性別をお知らせください。【SA】	男性	10,000	48.4%
		女性		51.7%

年代	あなたの年齢をお知らせください。【FA】（※集計では年代別に区分け）	10代	10,000	3.7%
		20代		11.9%
		30代		13.2%
		40代		17.5%
		50代		15.8%
		60代以上		37.9%

結婚有無	あなたは結婚しているでしょうか。【SA】	未婚	10,000	32.3%
		既婚（離別・死別含む）		67.7%

子供有無	あなたはお子様がいっぱいますか。【SA】	あり	10,000	58.6%
		なし		41.4%

居住エリア	あなたが住まいの都道府県をお知らせください。【SA】（※47都道府県から選択。集計ではエリア別に区分け）	北海道・東北・北関東・甲信・北陸	10,000	22.9%
		南関東		29.2%
		東海・近畿		28.1%
		中国・四国・九州・沖縄		19.9%

居住市町村の人口規模	あなたが、現在住んでいる市町村の人口規模はどのくらいですか。【SA】（※8区分から選択。集計では3区分に集約）	10万人未満	8,808	32.2%
		10～50万人未満		37.4%
		50万人～		30.4%
		（参考）東京都居住	1,192	—

設問全文：あなたが、現在住んでいる市町村の人口規模はどのくらいですか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

単純集計結果（２／１２）

タイトル	設問文	選択肢	n数	割合
就労状況	あなたの就業状況をお知らせください。【SA】（※集計では「公務員（契約職員は除外）」は除外）	会社員（正社員）	10,000	30.2%
		会社員（契約社員）		3.8%
		会社経営（経営者・役員）		1.6%
		公務員（正職員）		3.1%
		公務員（契約職員）※		1.0%
		派遣社員		2.0%
		個人事業主・フリーランス		6.9%
		パート・アルバイト		10.9%
		その他の職業		1.2%
		専業主婦・主夫		17.4%
		学生		6.1%
		無職		15.9%

業種	あなたが主に従事している業種をお知らせください。会社員の方はお勤めの会社の主たる業種をお知らせください。【SA】（※集計では※1を「その他」、※2を「卸売・小売業（その他）」、※3を「飲食店・宿泊業」に集約）	農林水産・鉱業 ※1	4,451	2.0%
		建設業		7.0%
		製造業		20.1%
		電気・ガス・熱供給・水道業 ※1		1.5%
		通信業・情報サービス業		6.1%
		放送・新聞・出版、広告・映像・音声制作業 ※1		0.9%
		運輸業・郵便業		5.9%
		卸売・小売業（スーパー・コンビニ・飲食料品等）		2.3%
		卸売・小売業（自動車、電機、家電・AV機器等） ※2		1.4%
		卸売・小売業（その他） ※2		7.5%
		銀行業・保険業		4.2%
		その他金融業 ※1		0.9%
		不動産業		3.0%
		専門・技術サービス業、学術研究		3.4%
		飲食店 ※3		2.1%
		宿泊業 ※3		0.9%
		教育・学習支援業		3.8%
		医療業		5.6%
		福祉関連業		4.1%
		その他サービス業 ※1		17.2%

単純集計結果（3／12）

タイトル	設問文	選択肢	n数	割合	
個人年収	失礼ですが、あなたご自身の年収は大体どの位ですか。 【SA】（※20区分から選択。集計では4区分に集約）	200万円未満	4,983		17.4%
		200～400万円未満			38.8%
		400～700万円未満			30.4%
		700万円～			13.4%
世帯年収	失礼ですが、あなたのお宅の世帯年収は大体どの位ですか。【SA】（※20区分から選択。集計では4区分に集約）	300万円未満	8,175		27.0%
		300～500万円未満			27.7%
		500～800万円未満			25.3%
		800万円～			20.0%
最終学歴	あなたが、最後に卒業した学校は次のうちどれですか。あてはまるものを1つだけ選択してください。【SA】（※7区分から選択。集計では5区分に集約）	大学院	10,000		4.4%
		大学			37.6%
		短期大学・高等専門学校・専門学校			21.6%
		高校・中学校			36.3%
		その他			0.1%

単純集計結果（４／１２）

タイトル	設問文	選択肢	n数	割合
趣味	あなたの趣味はどのようなものですか。あてはまるものを全て選択してください。※過去に趣味としていたものも選択してください。【MA】	国内旅行・海外旅行	10,000	44.3%
		テレビ鑑賞・インターネット等を通じた動画鑑賞（除く映画鑑賞）		37.3%
		映画鑑賞		31.4%
		読書		31.3%
		外食・グルメ・食べ歩き		29.8%
		音楽・演劇・舞踊・伝統芸能・大衆芸能の鑑賞		24.1%
		スポーツ観戦		21.4%
		ゲーム（テレビ・パソコン・スマートフォン・タブレット等）		19.6%
		ファッション・ショッピング		19.6%
		ガーデニング・園芸・庭いじり・DIY・日曜大工		19.4%
		フィットネス・ヨガ・ランニング・ウォーキング・サイクリング・スポーツ（ご自身の実施）・登山		18.4%
		ドライブ・ツーリング・キャンプ・アウトドア		18.1%
		テーマパーク・遊園地・動植物園・水族館等の訪問		15.6%
		料理・菓子作り		14.9%
		美術（含む写真）の鑑賞		13.9%
		音楽・演劇・舞踊・伝統芸能・大衆芸能の実演 ※カラオケ・合唱含む		12.6%
		パチンコ・公営ギャンブル（競馬・競輪・競艇等）・宝くじ		8.7%
		美術（含む写真）の制作		4.2%
		その他		2.6%
		趣味はない		8.5%

単純集計結果（５／１２）

タイトル	設問文	選択肢	n数	割合
趣味（音楽・演劇・舞踊・伝統芸能・大衆芸能の鑑賞）の内訳	あなたは、音楽・演劇・舞踊・伝統芸能・大衆芸能のうち、どのような分野の「鑑賞」を趣味としていますか。あてはまるものを全て選択してください。※過去に趣味としていたものも選択してください。【MA】	音楽（ポップス、ロック、歌謡曲、演歌、ジャズ）	2,407	78.3%
		音楽（オーケストラ、オペラ、室内楽、吹奏楽、合唱）		41.8%
		ミュージカル		30.5%
		演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇等）		20.9%
		ダンス（ストリートダンス、ジャズダンス、フラダンス、サルサ、フラメンコ、社交ダンス等）		11.6%
		バレエ・現代舞踊（モダンダンス、コンテンポラリーダンス等）		11.0%
		伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、日本舞踊、琴、三味線、尺八、雅楽、声明等）		20.5%
		大衆芸能（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽等）		21.2%
		その他		0.9%
趣味（音楽・演劇・舞踊・伝統芸能・大衆芸能の実演）の内訳	あなたは、音楽・演劇・舞踊・伝統芸能・大衆芸能のうち、どのような分野の「実演」を趣味としていますか。あてはまるものを全て選択してください。※過去に趣味としていたものも選択してください。【MA】	音楽（ポップス、ロック、歌謡曲、演歌、ジャズ） ※カラオケ含む	1,260	75.2%
		音楽（オーケストラ、オペラ、室内楽、吹奏楽、合唱）		32.5%
		ミュージカル		12.9%
		演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇等）		8.1%
		ダンス（ストリートダンス、ジャズダンス、フラダンス、サルサ、フラメンコ、社交ダンス等）		14.3%
		バレエ・現代舞踊（モダンダンス、コンテンポラリーダンス等）		7.2%
		伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、日本舞踊、琴、三味線、尺八、雅楽、声明等）		10.2%
		大衆芸能（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽等）		9.7%
		その他		1.7%

単純集計結果（6／12）

タイトル	設問文	選択肢	鑑賞 していない	1回のみ	2回程度 （半年に 1回程度）	3回程度 （4ヶ月に 1回程度）	4回程度 （3ヶ月に 1回程度）	6回以上 （2ヶ月に 1回以上）
各分野の 鑑賞頻度	あなたは、2019年の1年間に、美術館・映画館・劇場・音楽堂等で次の分野を直接鑑賞しましたか。それぞれの頻度につき最もあてはまるものを1つずつ選択してください。	美術	72.6%	13.1%	7.6%	2.9%	1.9%	1.8%
		映画	55.4%	15.4%	12.0%	5.8%	4.6%	6.7%
		音楽（ポップス、ロック、歌謡曲、演歌、ジャズ）	75.2%	9.8%	6.1%	2.4%	2.0%	4.5%
		音楽（オーケストラ、オペラ、室内楽、吹奏楽、合唱）	84.7%	6.9%	4.1%	1.9%	1.0%	1.4%
		ミュージカル	89.9%	5.5%	2.5%	1.0%	0.6%	0.6%
		演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇等）	91.9%	3.8%	2.1%	0.9%	0.5%	0.8%
		ダンス※1	93.3%	3.0%	1.6%	0.9%	0.5%	0.7%
		バレエ・現代舞踊（モダンダンス、コンテンポラリーダンス等）	94.5%	2.7%	1.3%	0.8%	0.4%	0.5%
		伝統芸能※2	91.2%	4.7%	2.0%	1.0%	0.4%	0.7%
		大衆芸能※3	90.2%	4.9%	2.5%	1.1%	0.5%	0.8%

※1：ストリートダンス、ジャズダンス、フラダンス、サルサ、フラメンコ、社交ダンス等

※2：歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、日本舞踊、琴、三味線、尺八、雅楽、声明等

※3：落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽等

タイトル	設問文	選択肢	n数	割合
これまでの 経験等	あなたのこれまでの経験や現在の状況について、次のうちからあてはまるものを全て選択してください。【MA】	海外に1ヶ月以上居住（旅行・ビジネス・留学等）した経験がある	10,000	8.9%
		海外を訪問（旅行・ビジネス・留学等）した経験がある ※ 1ヶ月以上の居住を除く		21.2%
		あなた自身が文化芸術業界の仕事をしている（していた）		3.8%
		文化芸術に関する仕事を行っている親族・友人がいる（いた）		7.3%
		子どもの頃、時々、家族と博物館・美術館に行っていた		19.0%
		子どもの頃、時々、家族と劇場・音楽堂に行っていた		12.6%
		高校・専門学校・大学・大学院の芸術系コースを卒業した		4.8%
		比較的経済的に余裕のある家庭で育った		15.4%
		あてはまるものはない		52.1%

単純集計結果（7／12）

タイトル	設問文	選択肢	n数	割合	
現政権の支持・不支持	あなたは、自民党・公明党連立政権を支持しますか。それとも支持しませんか。最も考えに近いものを1つ選択してください。【SA】	支持する	10,000	9.0%	
		どちらかという支持する		20.0%	28.9%
		どちらかという支持しない		16.0%	
		支持しない		31.3%	47.3%
		わからない・判断できない		23.8%	23.8%

政府の形	あなたは、今後の日本の在り方についてどのように考えますか。最も考えに近いものを1つ選択してください。【SA】	Aに近い	10,000	19.1%	
		どちらかというAに近い		42.2%	61.3%
		どちらかというBに近い		11.9%	
		Bに近い		9.4%	21.2%
		わからない・判断できない		17.5%	—

A：国民（含む法人）の税負担は大きいが、社会保障等の行政サービスが充実している社会を目指す
B：社会保障等の行政サービスは充実していないが、国民（含む法人）の税負担は小さな社会を目指す

タイトル	設問文	選択肢	ほぼ毎回投票している	時々投票している	あまり投票していない	ほぼ毎回投票していない	わからない・判断できない
投票状況	あなたは、過去に行われた次のような選挙でどの程度投票していますか。	衆議院・参議院議員選挙	59.6%	9.7%	6.1%	9.2%	4.3%
		地方首長の選挙（都道府県知事や市区町村長の選挙）	57.5%	10.6%	6.7%	9.9%	4.4%
		地方議員の選挙（都道府県・市区町村の議員の選挙）	56.4%	10.8%	7.2%	10.2%	4.3%

設問全文：あなたは、過去に行われた次のような選挙でどの程度投票していますか。それぞれ最もあてはまるものを1つずつ選択してください。
※25歳以上のみ回答

単純集計結果（8／12）

タイトル	設問文	選択肢	n数	割合
公的予算を優先的に振り分けるべき分野	あなたは、国・自治体の予算を特にどのような分野に優先的に振り分けるべきだと思いますか。優先度が高いと考えるものを5つまで選択してください。【MA】	医療・福祉・介護体制の充実	6,505	61.3%
		防災・減災		41.7%
		子育て環境の充実		35.7%
		教育の充実		29.2%
		自然環境の保護・地球環境保全・公害対策		24.6%
		資源・エネルギー対策		22.3%
		治安対策		22.3%
		防衛・安全保障		20.9%
		被災地の復興		20.0%
		社会インフラ（道路・鉄道・空港等）の整備		18.9%
		地方創生		15.9%
		一次産業（農林水産業等）の振興		14.0%
		科学技術の振興		13.9%
		二次産業（製造業）の振興		6.5%
		観光産業の振興		5.5%
		文化芸術の振興		5.5%
		国際協力		4.6%
		スポーツの振興		3.8%
		三次産業（サービス産業 ※除く観光産業）の振興		3.2%
		その他		1.4%

単純集計結果（9／12）

タイトル	設問文	選択肢	n数	割合	
文化芸術の重要性	あなたは、人々にとって文化芸術は重要だと考えますか。それとも重要ではないと考えますか。最も考えに近いものを1つ選択してください。【SA】	重要である	10,000	23.9%	
		どちらかという重要である		47.9%	71.7%
		どちらかという重要ではない		11.9%	
		重要ではない		4.2%	16.1%
		わからない・判断できない		12.1%	—

文化芸術の公的支援の是非	あなたは、国・自治体の予算を「文化芸術の振興・保護」に優先的に振り分けるべきだと考えますか。【SA】	優先的に振り分けるべきである	10,000	4.7%	
		どちらかという優先的に振り分けるべきである		28.9%	33.7%
		どちらかという優先的に振り分けるべきではない		29.3%	
		優先的に振り分けるべきではない		13.9%	43.2%
		わからない・判断できない		23.1%	—

設問全文：あなたは、国・自治体の予算を「文化芸術の振興・保護」に優先的に振り分けるべきだと考えますか。最も考えに近いものを1つ選択してください。

タイトル	設問文	選択肢	n数	割合	
“文化芸術の中で”公的支援の優先度の高い分野	では、どのような文化芸術の分野に、国・自治体の予算を優先的に振り分けるべきだと思いますか。あてはまるものを全て選択してください。【MA】	美術（絵画・版画・彫刻等） ※除く工芸・陶芸、写真、メディアアート	3,366		45.5%
		伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、日本舞踊、琴、三味線、尺八、雅楽、声明等）			45.3%
		文化財（各分野において保護対象とするもの）			36.2%
		工芸・陶芸			34.2%
		地域の祭り・年中行事等			33.2%
		食文化			28.7%
		音楽（オーケストラ、オペラ、室内楽、吹奏楽、合唱）			27.5%
		大衆芸能（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽等）			23.4%
		映画（除くアニメ）			23.2%
		演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇等）			21.6%
		文学（小説・詩・短歌・俳句等）			20.3%
		音楽（ポップス、ロック、歌謡曲、演歌、ジャズ）			20.2%
		マンガ・アニメ			18.4%
		ミュージカル			13.2%
		写真			11.5%
		バレエ・現代舞踊（モダンダンス、コンテンポラリーダンス等）			11.0%
		メディアアート			9.6%
		ダンス（ストリートダンス、ジャズダンス、フラダンス、サルサ、フラメンコ、社交ダンス等）			8.8%
		その他			0.6%
		わからない・判断できない			10.4%

単純集計結果（10／12）

タイトル	設問文	選択肢	n数	割合	
新型コロナに伴う特定の業種の支援の是非	あなたは、新型コロナウイルスの感染拡大を受け～【SA】	賛成である	10,000	25.5%	
		どちらかという賛成である		39.6%	65.1%
		どちらかという反対である		12.1%	
		反対である		5.7%	17.7%
		わからない・判断できない		17.2%	—

※設問全文：あなたは、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、国・自治体が「特定の業種」の団体や個人を対象に公的支援（給付金の支給・助成・融資・義務の免除等）を行うことについてどのように考えますか。最も考えに近いものを1つ選択してください。

新型コロナに伴う文化芸術の支援の是非	あなたは、新型コロナウイルスの感染拡大を受け～【SA】	賛成である	10,000	14.9%	
		どちらかという賛成である		36.9%	51.8%
		どちらかという反対である		16.3%	
		反対である		8.5%	24.8%
		わからない・判断できない		23.4%	—

※設問全文：あなたは、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、「文化芸術に従事している団体や個人」に対して国・自治体が特定の支援を行うことについてどのように考えますか。最も考えに近いものを1つ選択してください。

単純集計結果（11／12）

タイトル	設問文	選択肢	n数	割合
新型コロナウイルスの感染拡大に伴い優先的に支援すべき分野	あなたは、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、国・自治体は、特にどのような業種の団体や個人を優先的に支援すべきだと思いますか。優先度が高いと考えるものを5つまで選択してください。 【MA】	医療・介護	6,505	77.0%
		外食業・飲食業		44.7%
		宿泊業（ホテル・旅館等）		37.3%
		保育		34.6%
		物流サービス		28.9%
		鉄道・航空		26.4%
		スーパーマーケット		17.5%
		舞台芸術の興行（音楽・演劇・ミュージカル・演芸等） ※公立施設は除く		15.6%
		教育サービス（学習塾・英会話教室・習い事等）		15.1%
		タクシー・バス ※公営は除く		12.9%
		百貨店・ショッピングモール等の小売業		11.5%
		スポーツの興行（プロ野球・サッカー・相撲・プロレス・バスケットボール等）		10.0%
		テーマパーク・遊園地・動植物園・水族館 ※公立施設は除く		8.4%
		映画（映画館・映画配給・映画制作等）		8.3%
		接客を伴う飲食業（キャバレー・スナック・パブ等）		7.3%
		美術展の開催（含む画廊・ギャラリー） ※公立施設は除く		5.8%
		理髪・美容		5.4%
		フィットネス（スポーツジム・ヨガスタジオ等）		5.1%
		土木建設		4.9%
		その他		2.0%

単純集計結果（12／12）

タイトル	設問文	選択肢	行われるべきである	どちらかという と行われるべきである	どちらかという と行われるべきではない	行われるべきではない	一概に判断 できない	わからない
行政による 助成・補助 における 関与	あなたは、国・自治体が文化芸術の団体や個人に対して行う助成金・補助金の交付において、次の事柄が行われるべきだと考えますか。それとも、行われるべきではないと考えますか。それぞれ最も考えに近いものを1つずつ選択してください。	「政治家（首長を含む）」が助成・補助先の決定に関与すること	15.2%	23.1%	14.3%	14.3%	17.2%	15.9%
				38.3%		28.6%		33.1%
		「外部の有識者等により構成される審査会」により助成・補助先の決定が行われること	17.4%	34.5%	9.9%	7.0%	15.0%	16.1%
				51.9%		16.9%		31.1%
		「政治的な主義・主張が含まれる」芸術作品も自由に展示・上演されること	12.6%	21.3%	14.3%	17.2%	17.2%	17.3%
				33.9%		31.5%		34.5%
		「一部の方々にとって不快な表現が含まれる」芸術作品も自由に展示・上演されること	9.4%	17.8%	17.1%	20.1%	18.2%	17.3%
				27.2%		37.2%		35.5%
		国・自治体が「来場者の安全性の観点から」事業の内容について指示・依頼を行うこと	14.8%	32.0%	12.5%	9.8%	14.5%	16.4%
				46.8%		22.3%		30.9%
		国・自治体が助成・補助金の趣旨・目的の観点から「事業費の使い方・実施体制等」について指示・依頼を行うこと	12.5%	27.7%	15.3%	12.8%	14.6%	17.1%
				40.2%		28.1%		31.7%
		国・自治体が「政治的な観点から」事業の内容について指示・依頼を行うこと	9.7%	19.1%	16.6%	23.1%	14.7%	16.8%
				28.8%		39.7%		31.5%

行政の 主催事業 における 関与	あなたは、国・自治体が主催（全ての事業費を負担）する文化芸術の事業において、次の事柄が行われるべきだと考えますか。それとも、行われるべきではないと考えますか。それぞれ最も考えに近いものを1つずつ選択してください。	「政治家（首長を含む）」が展示・上演の構成・中身に関与すること	7.4%	12.5%	18.2%	33.7%	13.3%	14.9%
				19.9%		51.9%		28.2%
		外部の専門家（芸術家等）に一切の展示・上演内容を任せること	11.0%	25.4%	15.6%	13.2%	18.8%	16.1%
				36.4%		28.8%		34.9%
		「政治的な主義・主張が含まれる」芸術作品も自由に展示・上演されること	11.5%	21.1%	15.7%	18.0%	17.7%	16.0%
				32.6%		33.7%		33.7%
		「一部の方々にとって不快な表現が含まれる」芸術作品も自由に展示・上演されること	8.8%	18.1%	16.8%	21.0%	19.1%	16.2%
				26.9%		37.8%		35.3%

タイトル	設問文	選択肢	n数	割合
あいちトリエンナーレ認知	あなたは、昨年、「あいちトリエンナーレ※」の～【SA】	議論がなされていたことを知っている	10,000	52.2%
		「あいちトリエンナーレ」は知っているが、議論がなされていたことを知らない		10.1%
		「あいちトリエンナーレ」自体を知らない		37.7%

設問全文：あなたは、昨年、「あいちトリエンナーレ※」の一部である「表現の不自由展、その後」の展示が中止になった件をめぐる様々な議論がなされていたことをご存知でしたか。

※あいちトリエンナーレ…愛知県で3年に1度開催される国内最大級の現代アートの祭典

本レポートの記載に関する注意点

- 表中などに記載の割合は四捨五入したものとなっており、合計値は必ずしも100%にならない場合がある。
- クロス分析を行う際は以下のように選択肢を括って分析を行っている。
 - 【国・自治体の予算を「文化芸術の振興・保護」に優先的に振り分けるべきかどうか】
 - 「振り分けるべき」…「優先的に振り分けるべきである」と「どちらかという優先的に振り分けるべきである」
 - 「振り分けるべきではない」…「どちらかという優先的に振り分けるべきではない」と「優先的に振り分けるべきではない」
 - 【人々にとって文化芸術は重要かどうか】
 - 「重要である」…「重要である」と「どちらかという重要である」
 - 「重要ではない」…「重要ではない」と「どちらかという重要ではない」
 - 【国・自治体が「文化芸術に従事している団体や個人」に特定の支援を行うことについて】
 - 「賛成である」…「賛成である」と「どちらかという賛成である」
 - 「反対である」…「反対である」と「どちらかという反対である」
 - 【国・自治体の文化芸術の助成金・補助金、主催事業に係る意見】
 - 「行われるべきである」…「行われるべきである」と「どちらかという行われるべきである」
 - 「行われるべきではない」…「行われるべきではない」と「どちらかという行われるべきではない」